

会長挨拶

第24回日本乳癌学会学術総会開催にあたって

真の個別化医療を求めて

第24回日本乳癌学会学術総会

会長 岩瀬 拓士

(がん研有明病院 乳腺センター 乳腺外科部長)



このたび、第24回の日本乳癌学会学術総会を「真の個別化医療を求めて」をテーマに東京ビッグサイトにて開催させていただくことになりました。東京で2回続けた学術総会の開催となりますが、今回は広い展示ホールを生かした新しい形の学術総会になっています。ゆったりとしたスペースで活発な議論を展開していただけたらうれしく思います。

乳癌には個性があり、サブタイプで分類し大きくグループ分けすることで、診療も研究も個別化が図られてきました。また多くの臨床試験結果が明らかにされ、試験の登録条件に合致したグループにはそのままその治療法が適用されているものもあります。試験通りに再現すれば同じ結果が得られるとは思いますが、適切に個別化されたとは言い難いように思います。臨床試験の結果がなぜそうなったのか、患者に何が起きているのか、考え得るいくつかの病態を丁寧に検討して、真の個別化医療に少しでも近づけたいと願っています。

今回、新しい試みとして最終日に将来を担う若手によるプレジデンシャルシンポジウムを企画いたしました。これまで数回にわたって理事によるコンセンサスミーティングが行われてきましたが、今回は「若い力が拓く明日の乳がん医療」として、各地域の次世代を担う若手に自由な発想で将来の問題を議論してもらおうと思っています。地域としての団結力も再確認する場になることを願い、各地の皆様への応援を期待しています。また今回はサバイバーの参加も一つの課題として取り上げました。2日目の患者セッションではサバイバーが中心になってエクササイズや美容をテーマに取り上げ、その役割について考えようとして企画しています。また総会翌日の日曜日には共催企画として患者参加のフェスティバルも会場近くのがん研有明病院と、隣接する防災公園を使って実施いたします。

今、悩んでいる患者さんを、元気になったサバイバーと医療者、家族、友人がみんなで応援する企画です。自分一人ではないことを知って、元気をだしてもらえよう多くの患者さんの参加と応援を期待しています。

乳癌に関する学会は外科治療、検診、画像診断、腫瘍内科と多岐にわたって多数存在します。これらの関係者が一堂に会する総合的な学会が乳癌学会の学術総会だと考えています。そこには患者さんも自由に参加できるよう開かれた学会になることが必要と感じています。専門性は重要ですが、これらの個別の学会では聞かれないような他部門の専門家からの意見や、患者さんからの意見はとても貴重であると考えます。こうした討論の機会を積極的に設け、同時に多岐にわたる参加者の活発なコミュニケーションの場を提供できればと考えています。積極的なご参加、討論をよろしくお願いいたします。

企画・実行委員

会長 岩瀬 拓士（がん研有明病院）
 実行委員長 大野 真司（がん研有明病院）
 実行委員 秋山 太（がん研有明病院）
 伊藤 良則（がん研有明病院）
 飯島耕太郎（順天堂大学）
 宮城 由美（がん研有明病院）

準備委員 堀井 理絵（がん研有明病院）
 森園 英智（がん研有明病院）
 坂井 威彦（がん研有明病院）
 北川 大（がん研有明病院）
 荻谷 朗子（がん研有明病院）
 荒木 和浩（がん研有明病院）
 深田 一平（がん研有明病院）
 小林 心（がん研有明病院）
 中島 絵里（がん研有明病院）
 照屋なつき（がん研有明病院）
 片岡 明美（がん研有明病院）
 山崎 真澄（がん研有明病院）
 濱口 恵子（がん研有明病院）
 青木富士子（がん研有明病院）
 新井 正美（がん研有明病院）
 小口 正彦（がん研有明病院）

五味 直哉（がん研有明病院）
 澤泉 雅之（がん研有明病院）
 高橋 俊二（がん研有明病院）
 三木 義男（東京医科歯科大学）
 斎藤 千尋（三井記念病院）
 武石 優子（平鹿総合病院）
 桜井なおみ（がん研有明病院）

患者セッション実行委員

実行委員長 岩瀬 拓士（がん研有明病院）
 実行委員 大野 真司（がん研有明病院）
 岡部 朋子（ルナワークス）
 黒田 尚子（ファイナンシャルプランナー）
 広瀬真奈美（一般社団法人がん研究センター）
 増田 美加（医療ジャーナリスト）
 山崎多賀子（美容ジャーナリスト）

公募演題採択内訳

		採択率
公募演題総数	1,813	98.62%
採用合計	1,788	
不採用	25	
指定プログラム応募	214	20.09%
採用	43	
不採用	9	
一般演題へ	162	
一般演題審査演題数	1,761	99.09%
一般演題応募演題	1,599	
指定プログラム応募演題から	162	
一般演題採用合計	1,745	
厳選口演	36	
ポスター討議	536	
ポスター掲示	1,173	
不採用	16	

査読委員

相羽 恵介	大竹 徹	北田 正博	澤木 正孝	千島 隆司	曳野 肇	村田 透
相原 智彦	大谷彰一郎	北村 薫	沢田 晃暢	津川浩一郎	平井 良武	毛利 智美
青木 信彦	大野 真司	木下 智樹	枝園 忠彦	辻 尚志	平岡 眞寛	元村 和由
青儀健二郎	大淵 徹	木下 貴之	敷島 裕之	津田 均	平川 弘聖	森口 喜生
明石 定子	大前 敬子	木村 正幸	重松 英朗	土屋 眞一	平田 公一	森園 英智
秋山 太	大村 東生	金 昇晋	島田 和生	筒井 信一	平野 明	森本 健
阿南 敬生	岡崎 亮	九富 五郎	島多 勝夫	角田 伸行	広利 浩一	森谷 卓也
阿部 恭子	小笠原 豊	久保 真	清水 忠夫	角田 博子	福島 亘	矢形 寛
阿部 元	岡田 守人	久保田一徳	清水千佳子	露木 茂	福富 隆志	矢島 和宜
甘利 正和	緒方 晴樹	窪田 智行	白石憲史郎	鶴谷 純司	福岡 英祐	安田 秀光
雨宮 剛	緒方 秀昭	蔵下 要	新宮 聖士	戸井 雅和	藤井 公人	矢永 博子
荒木 和浩	岡本 康	蔵並 勝	進藤 久和	土井 卓子	藤井 孝明	柳田 康弘
安藤 二郎	小川 明男	久留宮康浩	神野 浩光	土井原博義	藤井 正宏	柳原 恵子
飯島耕太郎	小川 朋子	紅林 淳一	杉江 知治	唐 宇飛	藤森 実	矢野 健二
池田 克実	小川 恭弘	黒井 克昌	杉本 健樹	遠山 竜也	船越 真人	山内 清明
池田 雅彦	小川 佳成	黒木 祥司	杉山 和義	徳田 裕	朴 英進	山内智香子
石井 里枝	荻野 信夫	黒住 昌史	鈴木 栄治	徳留なほみ	細田 充主	山内 英子
石川 孝	荻野 充利	黒田 一	鈴木 正人	徳永えり子	穂積 康夫	山神 和彦
石川 哲郎	荻谷 朗子	鯉淵 幸生	鈴木 真彦	戸崎 光宏	堀井 理絵	山川 卓
石川 泰	小口 正彦	高阪 絢子	鈴木やすよ	永井 成勲	堀口 淳	山口 美樹
石田 孝宣	小倉 廣之	河野 範男	首藤 昭彦	長尾 育子	本多 博	山口 倫
石原 節子	淡河津世	国府 浩子	角谷 京子	長岡 りん	前田 一郎	山下 浩二
磯本 一郎	小田桐弘毅	腰塚 浩三	関口 建次	中島 一毅	前田 基一	山下 啓子
板倉 正幸	小山 徹也	小島 誠人	関根 広	中島 康雄	前田 茂人	山城 大泰
伊藤 研一	海瀬 博史	小塚 祐司	仙石 紀彦	長嶋 健	前田 哲代	山田 公人
伊藤 良則	加奥 節子	小西寿一郎	五月女恵一	中田 琢巳	前田 浩幸	山本 滋
稲治 英生	加賀野井純一	小林 茂樹	平 成人	中野 聡子	前田 益次郎	山本 尚人
稲葉 亨	加賀美芳和	小林 豊樹	高尾信太郎	中野 正吾	牧野 春彦	山本 裕
稲葉 将陽	笠川 隆玄	小林 尚美	高島 勉	中原 浩	増岡 秀次	山本 豊
井上 賢一	柏葉 匡寛	駒木 幹正	高他 大輔	中房 祐司	増田しのぶ	横江 隆夫
井上 慎吾	片岡 明美	五味 直哉	高野 利実	中村 清吾	増田 慎三	吉田 敦
井口 雅史	片岡 健	菰池 佳史	高橋かおる	中村 力也	舛本 法生	吉田 崇
今井 常夫	片寄 喜久	小山 拓史	高橋 俊二	中山 貴寛	松 敬文	吉田 雅行
井本 滋	勝俣 範之	小山 諭	高橋 雅子	西村 重彦	松井 哲	吉富 誠二
岩井 大	加藤 直人	紺谷 桂一	高橋 将人	西村誠一郎	松井 恒志	吉留 克英
岩熊 伸高	加藤 誠	齋藤 智子	高島 大典	西村 令喜	松尾 文恵	吉中 平次
岩瀬 弘敬	角舎 学行	齋藤 光江	田口 哲也	野木 裕子	松並 展輝	吉永 康照
岩田 広治	金澤麻衣子	齋村 道代	武井 寛幸	野口眞三郎	松本 英一	芳林 浩史
岩平 佳子	金森 修一	佐伯 俊昭	武石 明精	野水 整	松本 広志	吉原 基
上尾 裕昭	兼安 祐子	坂井 威彦	竹内 透	野村 長久	丸山修一郎	吉村 吾郎
上野 貴之	鎌田 収一	榊原 雅裕	武内 秀也	橋本 幸直	丸山 孝教	吉村 了勇
植松 孝悦	神尾 孝子	阪口 晃一	竹内 賢	橋本 秀行	三浦 大周	李 哲柱
内田 恵博	上村 万里	坂谷 貴司	竹之下誠一	長谷川善枝	三木 仁司	脇田 和幸
内海 俊明	亀井桂太郎	坂本 明子	武山 浩	秦 庸壮	三木 義男	和田 徳昭
榎本 克久	唐澤久美子	坂本 英至	多田敬一郎	服部 正也	水野 聡朗	綿谷 正弘
尾浦 正二	柄松 章司	相良 吉昭	多田 寛	花村 典子	水野 豊	渡辺 修
大井 恭代	川口 順敬	櫻井 健一	館花 明彦	馬場 紀行	三塚 幸夫	渡部 一宏
大石 陽子	川島 博子	櫻井 孝志	田中 千晶	浜 善久	三鍋 俊春	渡邊 健一
大岩 幹直	川島 実穂	笹 三徳	田中 文恵	林 慎一	宮城 由美	渡辺 隆紀
大内 憲明	川瀬 和美	笹野 公伸	田中 眞紀	林 孝子	宮国 孝男	渡辺 亨
大江 信哉	川端 英孝	佐治 重衡	谷 和行	林 直輝	宮澤 幸正	渡辺 直樹
大城戸政行	川本 久紀	佐竹 弘子	谷 眞弓	林 裕倫	宮下 勝	渡邊 良二
大久保雄彦	菊池 真理	佐藤 一彦	谷野 裕一	林 光弘	宮本 康敬	
大崎 昭彦	菊森 豊根	佐藤 隆宣	田部井 功	林 祐二	宮良球一郎	(50音順)
大住 省三	喜島 祐子	佐藤 友威	玉木 康博	林田 哲	三好 康雄	
大田 浩司	喜多みどり	佐藤 信昭	田村 元	坂東 裕子	向井 博文	
太田 智彦	北川 雄光	佐藤 康幸	丹黒 章	檜垣 健二	村上 隆介	

概 要

1. 会 期

2016年(平成28年)6月16日(木)・17日(金)・18日(土)

2. 会 場

東京ビッグサイト

〒135-0063 東京都江東区有明3-11-1

TEL : 03-5530-1111 (代)

3. 会 長

岩瀬 拓士(がん研有明病院 乳腺センター 乳腺外科部長)

4. 学会ホームページ

<http://www.congre.co.jp/24jbcs/>

5. 総会事務局

がん研有明病院 乳腺センター

〒135-8550 東京都江東区有明3-8-31

6. 総会期間中連絡先：運営本部

東京ビッグサイト 東展示棟 1階 東4・5ホール 商談室

TEL : 090-6909-9916

7. 学会行事

理事会

6月15日(水) 14:30～15:30

ヒルトン東京お台場 1階 シリウスB

定時総会(旧評議員会)

6月15日(水) 16:00～18:00

ヒルトン東京お台場 1階 オリオン

各種委員会

6月15日(水) 各指定時間

ヒルトン東京お台場 各会場

総会

6月17日(金) 13:10～13:40

第1会場(東京ビッグサイト 東展示棟 1階 東4・5ホールA)

Wine & Cheese

① 6月16日(木) 18:20～19:50

ポスター会場(東京ビッグサイト 東展示棟 1階 東4・5ホールD)

② 6月17日(金) 18:30～20:00

ポスター会場(東京ビッグサイト 東展示棟 1階 東4・5ホールD)

8. 教育・研修委員会 共催行事

教育セミナー

① 6月16日(木) 9:00～10:00

第4会場(東京ビッグサイト 会議棟 7階 国際会議場)

② 6月16日(木) 10:30～11:30

第4会場(東京ビッグサイト 会議棟 7階 国際会議場)

看護セミナー

6月18日(土) 8:30～10:30

第4会場(東京ビッグサイト 会議棟 7階 国際会議場)

病理セミナー

	バーチャルスライド閲覧会場 会議棟 6階 601会議室	レクチャー 第2会場（東展示棟 1階 東4・5ホールB）
6月16日（木）	9：00～17：00	－
6月17日（金）	9：00～17：00	－
6月18日（土）	9：00～12：00	10：20～11：40

画像診断セミナー

①乳房超音波

	超音波コーナー 会議棟 6階 609会議室		解説 第2会場 （東展示棟 1階 東4・5ホールB）
	読 影	解答揭示	
6月16日（木）	9：00～17：00 （16：30 受付終了）	－	－
6月17日（金）	9：00～16：00 （15：30 受付終了）	16：15～17：00	－
6月18日（土）	－	9：00～12：00	9：25～10：05

※ 解答揭示時間は、解答を掲示しますので、自習・自己採点が可能です。ただし、参加証の発行は解答揭示期間前の参加者で、解説を聴講頂いた方に限ります（解答揭示期間のみの参加者に参加証は発行されません）。

②マンモグラフィ

	マンモグラフィコーナー 会議棟 6階 610会議室		解説 第2会場 （東展示棟 1階 東4・5ホールB）
	読 影	解答揭示	
6月16日（木）	9：00～17：00 （16：30 受付終了）	－	－
6月17日（金）	9：00～16：00 （15：30 受付終了）	16：15～17：00	－
6月18日（土）	－	9：00～12：00	8：30～9：10

※ 解答揭示期間は、解答を掲示しますので、自習・自己採点が可能です。ただし、参加証の発行は解答揭示期間前の参加者で、解説を聴講いただいた方に限ります（解答揭示期間のみの参加者に参加証は発行されません）。

9. 学会関連行事

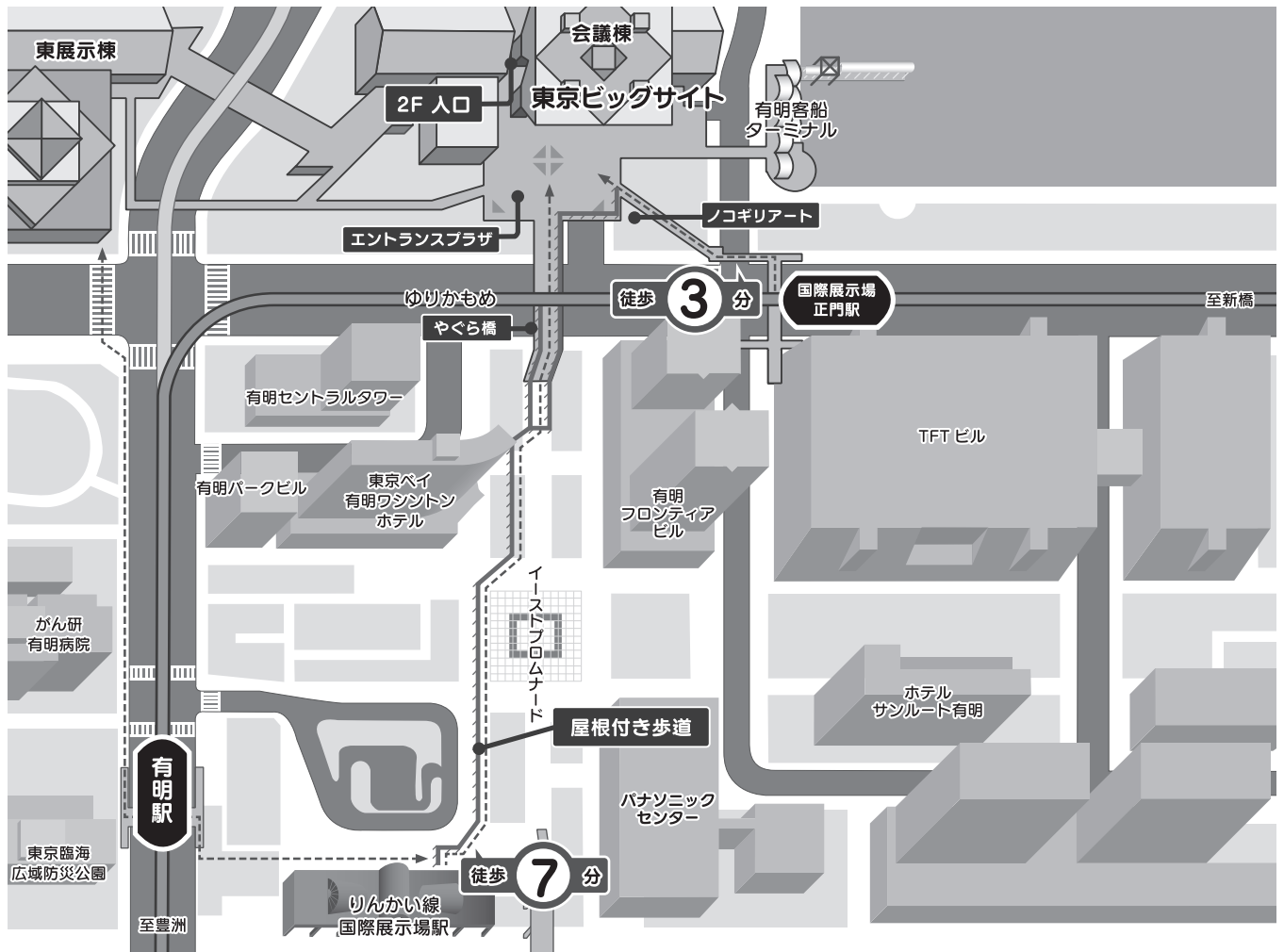
モーニングセミナー、ランチョンセミナー、イブニングセミナー

	モーニングセミナー	ランチョンセミナー	イブニングセミナー
6月16日（木）	－	11：50～12：40	16：30～18：00
6月17日（金）	7：30～8：20	12：00～12：50	17：10～18：10
6月18日（土）	7：30～8：20	12：00～12：50	－

併設展示会

6月16日（木）～18日（土） 東京ビッグサイト 東展示棟 1階 東4・5ホール

会場へのアクセス



東京ビッグサイト

〒135-0063 東京都江東区有明 3-11-1

TEL : 03-5530-1111 (代表)

会場への交通案内

■電車でご来場の方

りんかい線「国際展示場」駅下車 徒歩約7分

ゆりかもめ「国際展示場正門」駅下車 徒歩約3分

■バスでご来場の方

都営バス

東京駅⇒東京ビッグサイト

〔都05系統：東京駅丸の内南口(勝どき駅前経由)〕約40分

東京駅⇒東京ビッグサイト

〔東16系統：東京八重洲口(豊洲駅前経由)〕約40分

門前仲町⇒東京ビッグサイト

〔門19系統：門前仲町(豊洲駅前経由)〕約30分

※豊洲駅からは約15分

Kmフラワーバス

浜松町駅⇒東京ビッグサイト 約40分

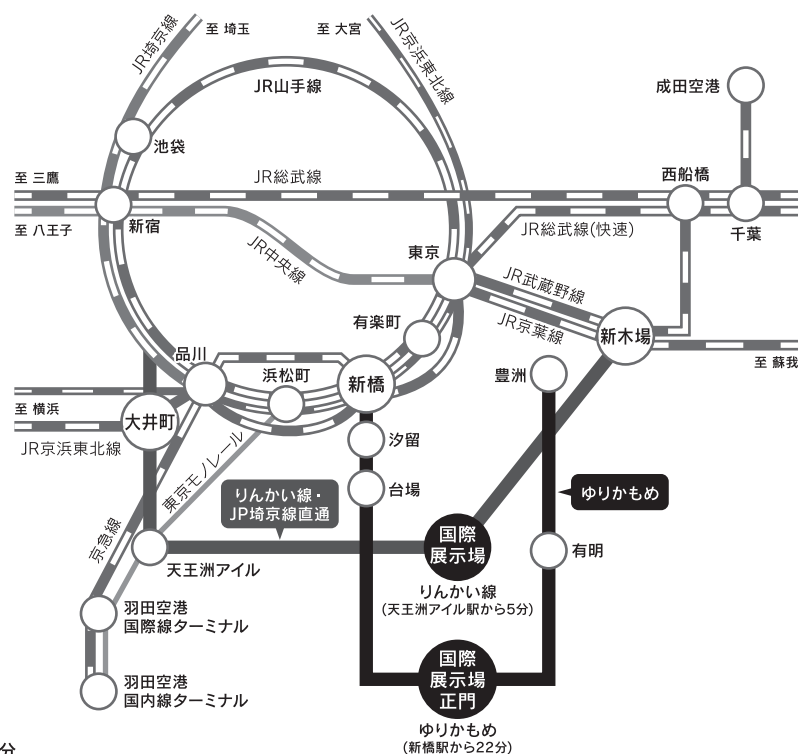
京急バス

横浜駅東口⇒東京ビッグサイト 約50分

■空港からご来場の方

成田空港 (リムジンバス) ⇒東京ベイ有明ワシントンホテル 約60分
※東京ビッグサイトまで徒歩3分

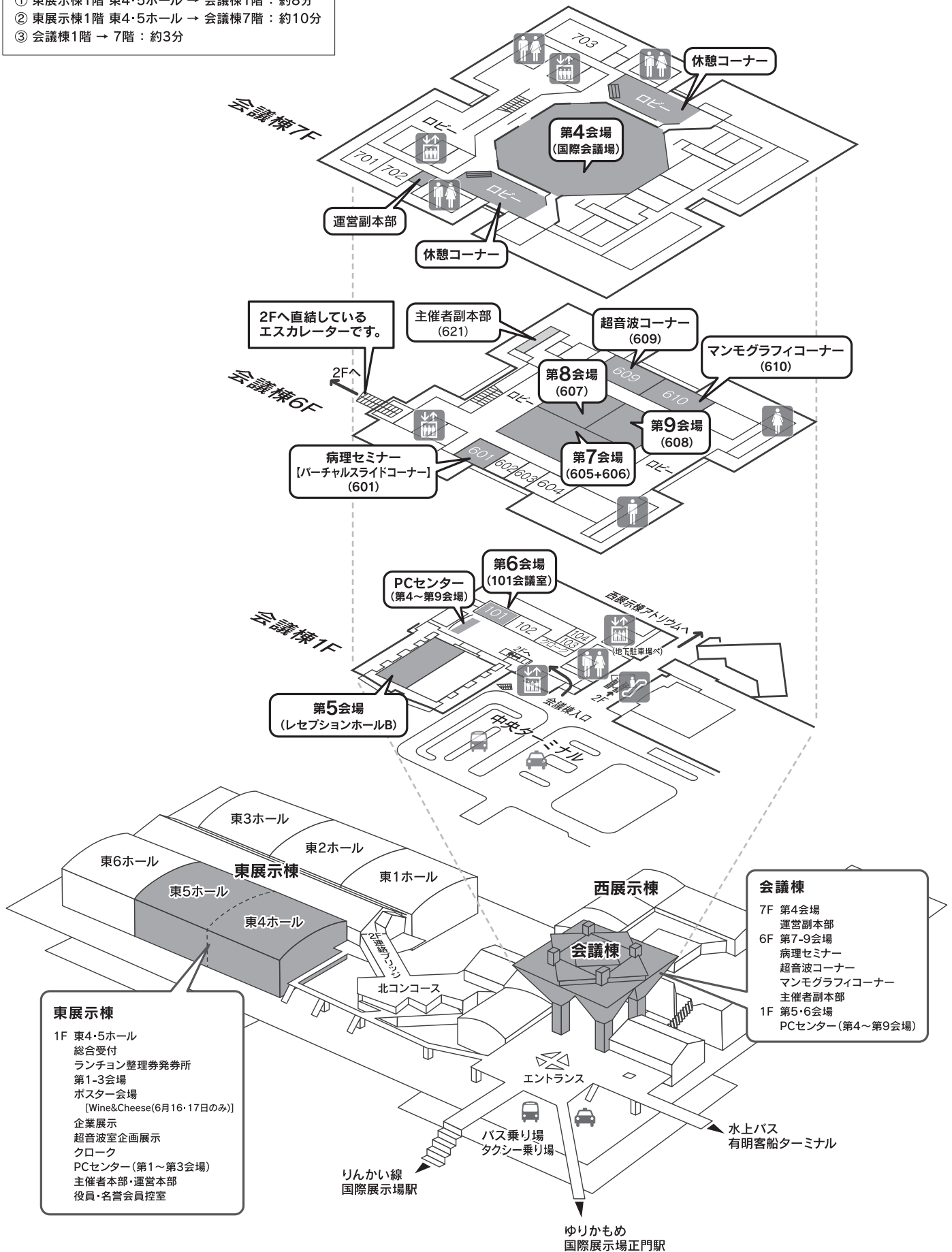
羽田空港 (リムジンバス/京急バス) ⇒東京ビッグサイト 約25分



会場内のご案内／東京ビッグサイト

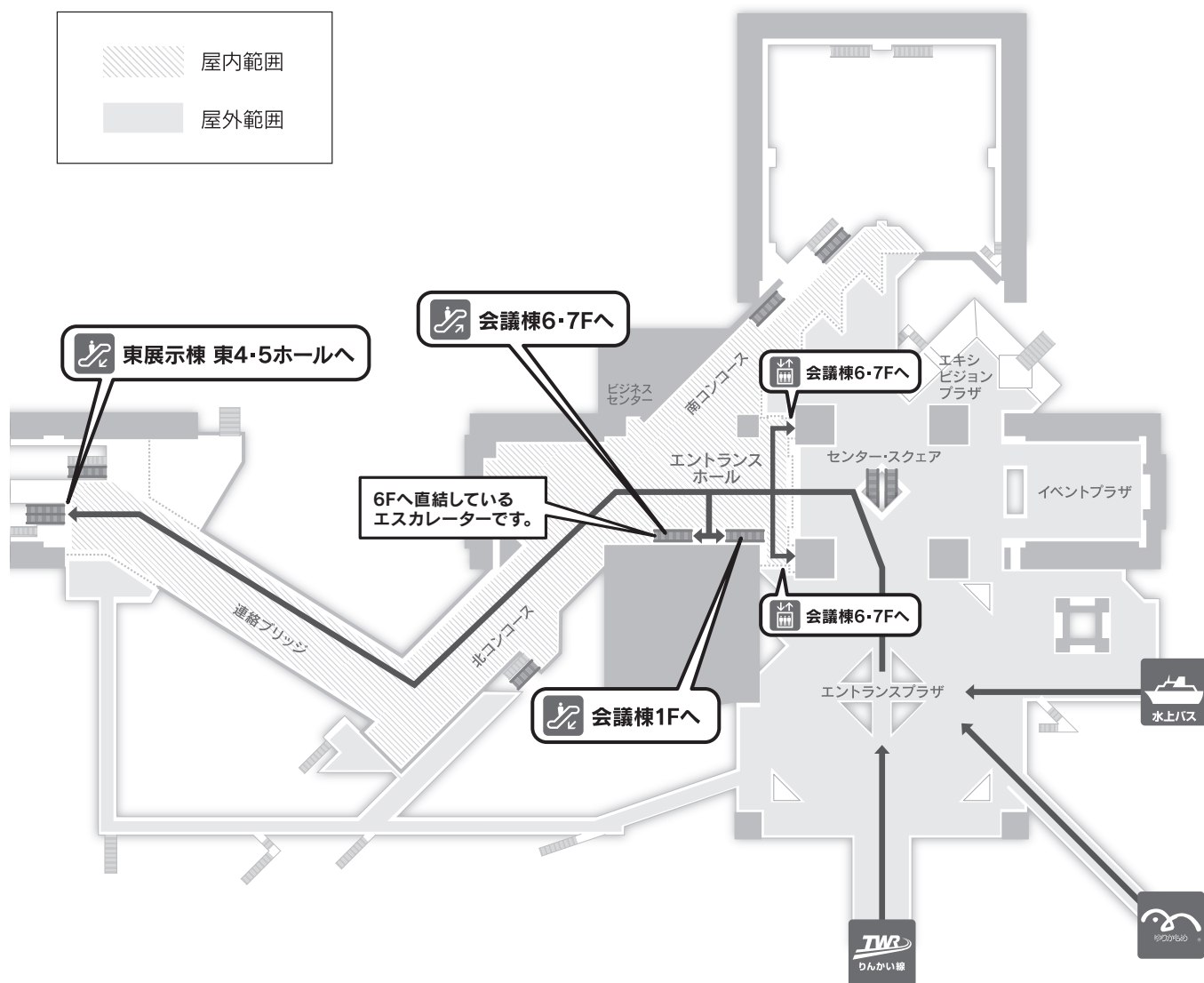
【移動時間目安】

- ① 東展示棟1階 東4・5ホール → 会議棟1階：約8分
- ② 東展示棟1階 東4・5ホール → 会議棟7階：約10分
- ③ 会議棟1階 → 7階：約3分



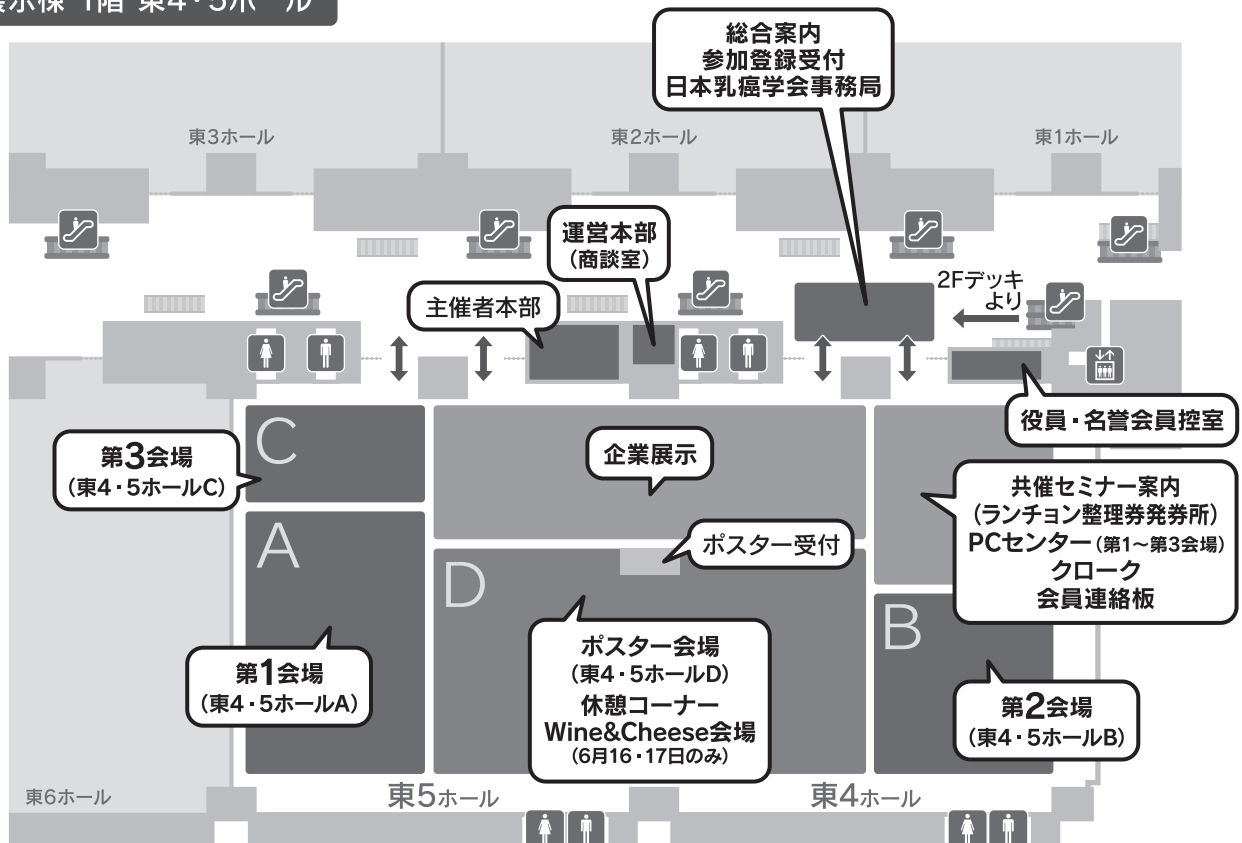
会場内のご案内／東京ビッグサイト

2階 東展示棟⇄会議棟

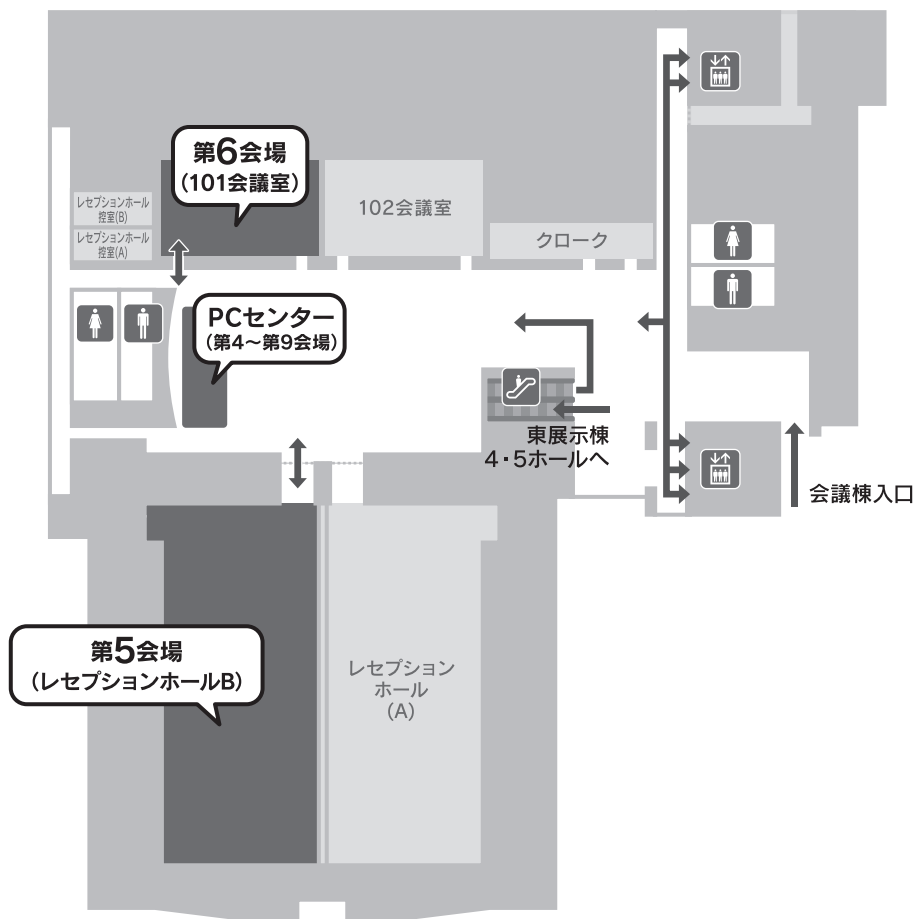


会場内のご案内／東京ビッグサイト

東展示棟 1階 東4・5ホール

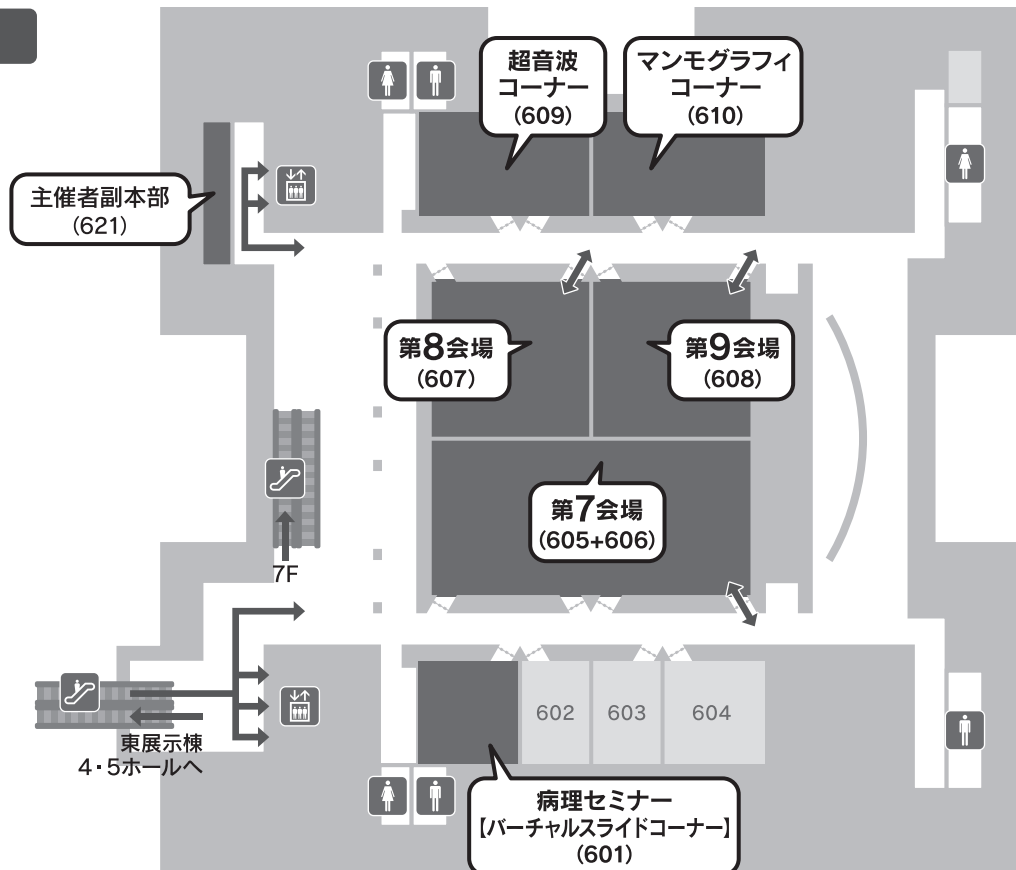


会議棟 1階

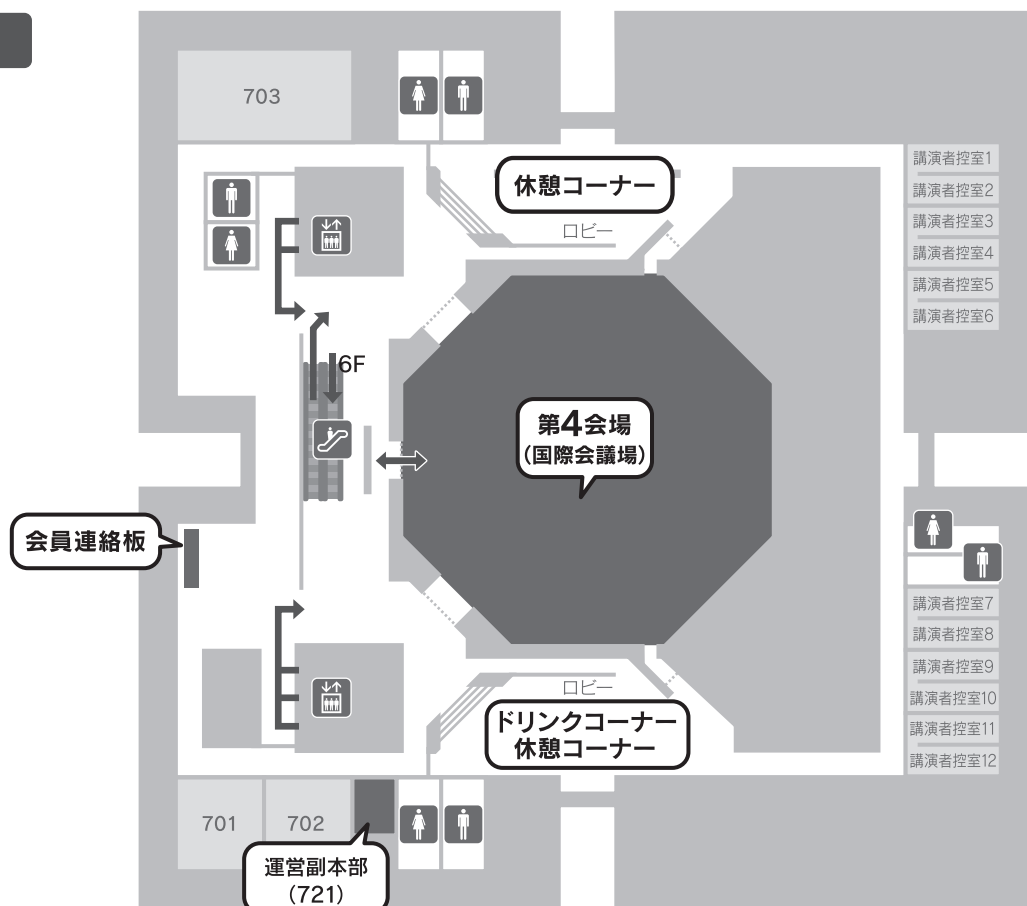


会場内のご案内／東京ビッグサイト

会議棟 6階



会議棟 7階



参加者へのお知らせ

1. 参加費および受付方法

【事前登録】

登録が完了された方には、6月上旬までに参加証・ランチョン整理券を事前送付いたします。当日はお忘れのないようご持参ください。

【当日登録】

当日、参加受付の参加証自動発券機にて、現金またはクレジットカード（VISA、MasterCard、JCB、American Express、Diners Club）で参加登録費をお支払いください。

参加費区分	事前参加登録費	当日参加登録費
会 員	15,000円	18,000円
準会員	10,000円	13,000円
非会員（医師・一般・企業）	20,000円	20,000円
非会員（メディカルスタッフ）	15,000円	15,000円
非会員（患者・家族）	—	10,000円
学 生（学部学生・看護学校生）	—	3,000円

※非会員（患者・家族）、学生については当日参加登録のみです。

※学生の方は、「学生証」を学術総会当日、「学生受付」にてご提示ください。大学院生は対象外です。

学生証のご提示がない場合、学生参加登録費の適用外となりますので、予めご了承ください。

※患者（家族を含む）、一般の方は、薬機法（旧 薬事法）による「広告の制限」（第3-5-（1）項）より、企業展示ブースへの立ち入り、並びに企業共催セミナーへの参加はできません。

※参加証を着用されていない方の入場は固くお断りいたします。なお、参加証の再発行はできませんのでご了承ください。

・演者・共同演者は本学会会員に限ります。共同演者で未加入の方は至急下記までご連絡の上、入会手続きをしてください。なお、学術総会当日も日本乳癌学会事務局デスクにて入会手続きが可能です。

■新入会・年会費

一般社団法人日本乳癌学会事務局

〒103-0027 東京都中央区日本橋3-8-16 ぶよおビル3階

E-mail: office@jbcs.gr.jp URL: http://www.jbcs.gr.jp

2. 参加受付

受付日時・会場

学会前日 社員（旧評議員）のみ	6月15日（水）	14：00～18：30	ヒルトン東京お台場 1階 ホワイエ
学会期間中	6月16日（木）	7：30～17：00	東京ビッグサイト 東展示棟 1階 東4・5ホール前
	6月17日（金）	7：30～17：00	
	6月18日（土）	7：30～15：00	

※定時総会（旧評議員会）の受付は、6月15日（水）15:00より会場前に行います。学術総会の参加登録がお済みでない方は、定時総会受付の前に必ず学会参加受付をお済ませください。

3. プログラム抄録集

第24回日本乳癌学会学術総会のプログラム抄録集は、事前販売いたします。なお、当日も数に限りはございますが販売いたします。ご希望の方は総合受付にお越しください。（販売価格3,000円）

PDF版プログラム・抄録集は5月中旬頃、学術総会ホームページにて公開予定です。

ポケットプログラム集は例年どおり当日学会会場にて配布いたします。

4. プログラムアプリ

本学術総会に参加される方はご自身のスマートフォンやPCを使って、プログラム検索・抄録閲覧やスケジュール登録が行える「My Schedule」（オンライン演題検索システム）サービスをご利用いただけます。
ダウンロード等利用方法については下記をご参照ください。

■ iOS 版の場合

App Store を開き「24JBCS」を検索してください。

■ Android 版の場合

Google Playを開き「24JBCS」を検索してください。

※ iOS、Androidいずれの場合も、抄録閲覧時にパスワードの入力が必要です。

パスワード: jbc2016

■ 学会ホームページでは、Web 版も公開いたします。

<http://www.congre.co.jp/24jbc2016/>

5. Wine & Cheese

会場：東京ビッグサイト 東展示棟 1階 東4・5ホールD [ポスター討議] [ポスター掲示自由討論]

日時：① 6月16日（木） 18：20～19：50 18：20～19：20 19：20～19：50

② 6月17日（金） 18：30～20：00 18：30～19：30 19：30～20：00

※参加費は無料です。

ワインを飲みながら、活発な討議をお願いいたします。

6. クローク

場所：東京ビッグサイト 東展示棟 1階 東4・5ホール
" 会議棟 1階 レセプションホール横

時間：6月16日（木） 7：30～20：00

6月17日（金） 7：30～20：00

6月18日（土） 7：30～15：00

7. 共催セミナーのご案内

- ・ランチョンセミナーでは、お弁当をご用意いたします。（モーニングセミナーは軽食）
- ・事前参加登録された方は、オンライン上でランチョンセミナーの事前予約ができます。
- ・ランチョンセミナーのみ、セミナーの開催当日に一部整理券を発券いたします。整理券は、お一人様1日1枚限り、先着順で配布します。なくなり次第終了いたしますので、ご了承ください。
- ・ランチョンセミナー開始と同時に、整理券は無効となります。

整理券 発券場所・時間

配布対象セミナー	開催・配布日	配布時間	配布場所
ランチョンセミナー	6月16日（木）	7：30～11：30	東京ビッグサイト 東展示棟 1階 東4・5ホール
	6月17日（金）	7：30～11：30	
	6月18日（土）	7：30～11：30	

※モーニングセミナー、イブニングセミナーの整理券配布はございません。直接会場へお越しください。

8. Wi-Fi コーナー

設置場所：東京ビッグサイト 東展示棟 1階 東4・5ホール内

ID：24JBCS

PW：odaibatokyo

9. 託児室のご案内

学術総会会期中、託児室を設置いたします。学術総会参加者の方は無料でご利用いただけます。

(事前予約制)

<http://www.congre.co.jp/24jbcs/contents/nursery.html>

10. 呼び出し

各会場内での放送及びサイドスクリーンによる呼び出しは行いません。ご希望の方は、東展示棟 1階 東4・5ホール、および会議棟 7階の会員連絡板をご利用ください。

11. ご注意

- ・講演時のスライドの写真撮影・ビデオ撮影は固くお断りいたします。
- ・会場内でのフラッシュや照明を用いた写真撮影・ビデオ撮影は、固くお断りいたします。
- ・会場内では携帯電話などの電源はお切りいただくかマナーモードに切り替えてご使用ください。また、その他の電子機器（PC、タブレット端末など）についても、会場内では電源をオフにするか、ディスプレイの明るさを落としてご利用ください。
- ・本学術総会での取材は、事前登録が必要です。
- ・会場内は全面禁煙です。
- ・東京ビッグサイトに有料の駐車場はございますが、駐車スペースには限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。また無料券・割引券の取扱いは行っておりませんので、予めご了承ください。
- ・ご講演中も貴重品は常に携帯し、盗難には十分ご注意ください。

My Schedule (オンライン演題検索システム) ご利用方法

パスワード：jbcs2016

アプリ版

App Store、Google Playより「24JBSC」を検索し、ダウンロードしてください。

- ・アプリ名： 24JBSC
- ・公開日： 2016年6月上旬 公開予定
- ・対応機種： iPhone、iPad、Android

Web版

「第24回日本乳癌学会学術総会」ホームページよりMy Schedule Web版へアクセスしてください。

座長・演者へのお知らせ

発表時間（口演・ポスター）について

発表・質疑応答時間は次表のとおりです。時間を厳守してください。

セッション名	発表時間	質疑応答
プレジデンシャルシンポジウム	個別に連絡	個別に連絡
シンポジウム		
パネルディスカッション		
ワークショップ		
ビデオセッション		
ディベート		
厳選口演	8分	3分
ポスター討議 ^{※1}	3分	5分
ポスター掲示 ^{※2}	【自由討論】 6月16日(木)・17日(金) 30分 6月18日(土) 50分	

※1 ポスター会場にて筆頭演者が自身のポスター前で発表・質疑応答に対応します。座長による進行がございます。

※2 ポスター会場にて筆頭演者が自身のポスター前で質疑応答に対応します。座長による進行はありません。

演題番号について

演題番号の先頭の記号は以下の通りです。

- PL 会長講演
- SL 特別講演
- PSY プレジデンシャルシンポジウム
- SY シンポジウム
- PD パネルディスカッション
- WS ワークショップ
- VS ビデオセッション
- DB ディベート
- IS International Seminar
- CC ケースカンファレンス
- OS 厳選口演
- DP ポスター討論
- GP ポスター掲示
- MS モーニングセミナー
- LS ランチョンセミナー
- ES イブニングセミナー

(例) OS-1-01-03

(厳選口演 - 1日目 - 厳選口演1 - 3番目の発表)

セッション名 - 第〇日目 - セッション番号 - 発表順

■ 口演

座長の皆様へ

- 座長受付は行いません。担当セッション開始予定時刻の20分前までに、会場内右手前方の進行係スタッフに到着をお知らせの上、「次座長席」にお着きください。
- 進行は座長に一任いたしますが、時間厳守にご協力をお願いいたします。

演者の皆様へ

1. 筆頭演者の利益相反の開示につきましては25ページをご確認ください。
2. 参加登録を済ませてからPCセンターへお越しください。
3. 発表データの受付、パソコン持込の場合の出力チェック・確認は全てPCセンターにて行います。必ず発表の30分前までに受付をお済ませください。

受付場所は下記の通りです。会場によって受付場所が異なりますのでご注意ください。

会 場	場 所	受付時間		
		6月16日(木)	6月17日(金)	6月18日(土)
第1～第3会場	東京ビッグサイト 東展示棟 1階 東4・5ホール	7:30～16:30	7:30～16:30	7:30～14:00
第4～第9会場	東京ビッグサイト 会議棟 1階 レセプションホールロビー			

※会期初日の午前中は大変混雑いたします。基本的には先着順にて対応いたしますが、やむを得ず早い発表時間の方を優先させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

4. 一つ前の演者の発表が始まりましたら、会場左手前方の次演者席へお着きください。
5. 質疑応答、討論につきましては座長の指示に従ってください。
6. 発表は、PCプレゼンテーションのみです。演台上に設置されているマウスとキーボードを操作してください。
7. 発表データは、PC本体をご持参されるか、メディアでご持参ください。Windowsのみデータ持込みが可能です。Macintoshの場合は、ご自身のPC本体を必ず持参してください。
8. 発表後、発表データは事務局で責任をもって消去いたします。

■ PCをお持込になる場合

- 1) パソコンのACアダプター、外部出力用変換ケーブルは、必ずご自身でご用意ください。会場でご用意するPCケーブルコネクタの形状は、Mini D-Sub15ピンです。外付けコネクタを必要とする場合には必ずご自身でお持ちください。



- 2) スクリーンセーバーならびに省電力設定は事前に解除してください。
- 3) スリープからの復帰時、起動時のパスワードは解除しておいてください。
- 4) ご自身のPCと共に、バックアップ用のデータ（USBフラッシュメモリー、CD-R）をご持参ください。
- 5) スムーズな進行のために、発表者ツールのご使用はご遠慮ください。
- 6) PCは、セッション終了後、会場内のPC卓にてご返却いたします。

■ メディアをお持込になる場合

- 1) 使用可能なメディアは、USBフラッシュメモリーおよび、CD-R、DVD-Rの持ち込みに限ります。CD-RW、MO、フロッピーディスクは一切受付できません。CD-R/DVD-Rに書込みの際にはハイブリット（ISO9660）フォーマットをご利用ください。パケットライト等の特殊な書込み機能は読み込めないことがありますのでご使用にならないでください。
- 2) 持ち込まれるメディアには、当日発表されるデータ（完成版）以外のデータを入れないようにしてください。またデータのファイル名は、「演題番号について」の通りの演題番号（半角）に続けて演者の氏名（漢字）を必ずつけてください。例：OS-1-01-01 東京太郎
- 3) 事務局で用意するPCは、OS：Windows 7、アプリケーションソフト：Microsoft PowerPoint 2007/2010/2013です。
- 4) 動画データをご使用の場合は、Windows 7（OS）およびWindows Media Player11の初期状態に含まれるコーデックで再生できる動画ファイルをお持ちください。（動画ファイルはWMV形式を推奨いたします。）

必ず作成に使用されたPC以外のPCでの動作確認をお願いいたします。

バックアップとしてPC本体の持込を推奨いたします。

- 5) 使用フォントは文字化け、レイアウトのくずれを防ぐためWindows 標準搭載のものをご使用ください。
日本語推奨フォントの場合：MSゴシック、MSPゴシック、MS明朝、MSP明朝など
英語推奨フォントの場合：Arial、Arial Black、Century、Century Gothic、Times New Roman
- 6) 画面の解像度はXGA（1024×768ピクセル）です。このサイズより大きい場合、スライドの周囲が切れてしまいますのでスライドショーの設定をXGAに合わせてください。
- 7) メディアを介したウイルス感染の事例がありますので、最新のウィルス駆除ソフトでチェックしてください。
- 8) コピーミスを防ぐため、データコピー作成後、他のパソコンで正常に動作するかチェックしてください。
- 9) メディアは受付後にご返却いたしますが、念のため、発表時にご持参ください。

ポスター討議座長の皆様へ

1. 座長は、セッション開始15分前までにポスター会場前のポスター受付にお越しください。座長用のリボンと指示棒をお渡しいたします。
2. 担当セッション開始10分前までにポスター前にて待機してください。
3. 各セッションの進行は座長に一任いたしますが、終了時間は厳守してください。
4. 担当セッションが終了しましたら、座長用のリボンと指示棒をポスター受付にご返却ください。

ポスターセッション演者の皆様へ

ポスタープリントサービスを事前にお申込みされた方は、総会事務局で印刷・貼り付けをいたします。

発表時間15分前までに、ポスター受付にお越しください。

1. ポスター受付
「ポスター討議」及び「ポスター掲示」の演者は、セッション日の指定時間までに各自で指定の場所に貼付してください。（ポスタープリントサービス利用者については事務局で貼り付けを行います。）
2. 「ポスター討議」演題
ポスター会場で座長の進行により発表・質疑応答を行います。
3. 「ポスター掲示」演題
自由討論時間を設けます。座長による進行はございません。

ポスター貼付スケジュール（ポスター討議、ポスター掲示）

下記スケジュールにてポスターを貼付してください。

セッション日時	ポスター会場				
	貼付時間	閲覧時間	発表・質疑応答時間	自由討論時間	撤去時間
			ポスター討議	ポスター掲示	
6月16日（木）	7：30～9：00	9：00～18：20	18：20～19：20	19：20～19：50	19：50～20：20
6月17日（金）	7：30～9：00	9：00～18：30	18：30～19：30	19：30～20：00	20：00～20：30
6月18日（土）	7：30～8：00	8：50～14：50	－	8：00～8：50	14：50～15：30

※時間を過ぎても取り外されないポスターは、事務局にて処分いたします。

※所定日にポスターが貼り出されていなかった場合、「演題取り下げ」となります。

※掲示用のピンは事務局でご用意いたします。セロハンテープ、接着剤は使用できませんのでご注意ください。

筆頭演者の利益相反の開示について

筆頭演者自身の過去3年間における、発表内容に関連する企業や営利を目的とする団体に関わる利益相反（Conflict of Interest : COI）の有無を発表時に必ず開示ください。（共同演者のものは開示不要）

発表時のスライドないしポスターに記載が必要となります。利益相反【なし】の場合も必ず【なし】として記載してください。

利益相反の指針および発表時の開示形式については、日本乳癌学会ホームページをご参照ください。

<http://www.jbcs.gr.jp/AboutJBCS/rieki.html>

開示用 FORMAT

3ページ: 開示用 FORMAT

The Japanese Breast Cancer Society
since 1992

筆頭演者の利益相反状態の開示

	該当の状況	企業名等
(1) 役員・顧問職	あり ・ なし	
(2) 株	あり ・ なし	
(3) 特許使用料	あり ・ なし	
(4) 講演料など	あり ・ なし	
(5) 原稿料など	あり ・ なし	
(6) 研究費	あり ・ なし	
(7) その他報酬	あり ・ なし	

1項目でも該当する場合

【口演の場合】

4ページ: 例題(1項目でも該当する場合)

The Japanese Breast Cancer Society
since 1992

筆頭演者の利益相反状態の開示

	該当の状況	企業名等
(1) 役員・顧問職	あり	Xベンチャー企業
(2) 株	あり	A製薬、Yベンチャー企業
(3) 特許使用料	なし	
(4) 講演料など	あり	A製薬、B医療機器メーカー
(5) 原稿料など	あり	C製薬
(6) 研究費	あり	D製薬、E医療機器メーカー、F検査会社
(7) その他報酬	あり	G化粧品会社、H生命保険会社、I出版社

すべての項目に該当なしの場合

4ページ: 例題(すべての項目に該当なしの場合)

The Japanese Breast Cancer Society
since 1992

筆頭演者の利益相反状態の開示

すべての項目に該当なし

【ポスターの場合】

5ページ: 開示用 ポスター(1項目でも該当する場合)

POSTER DISCUSSION or POSTER

筆頭演者の利益相反状態の開示

	該当の状況	企業名等
(1) 役員・顧問職	あり	Xベンチャー企業
(2) 株	あり	A製薬、Yベンチャー企業
(3) 特許使用料	なし	
(4) 講演料など	あり	A製薬、B医療機器メーカー
(5) 原稿料など	あり	C製薬
(6) 研究費	あり	D製薬、E医療機器メーカー、F検査会社
(7) その他報酬	あり	G化粧品会社、H生命保険会社、I出版社

5ページ: 開示用 ポスター(すべての項目に該当しない場合)

POSTER DISCUSSION or POSTER

筆頭演者の利益相反状態の開示

すべての項目に該当なし

教育セミナーのお知らせ

テーマ：画像診断と薬物療法の総合的判断力の向上を目指して

司 会：佐伯 俊昭（埼玉医科大学国際医療センター 乳腺腫瘍科）
土井原博義（岡山大学 乳腺・内分泌外科）

教育セミナー① 診 断

日 時：2016年6月16日（木） 9:00～10:00

会 場：第4会場（東京ビッグサイト 会議棟 7階 国際会議場）

講 師：角田 博子（聖路加国際病院 放射線科）

画像機器の進歩により、乳癌画像診断は飛躍的な進歩を遂げています。さて、画像診断は検診と精密検査とでは、推奨される診断方法と目的が異なります。今回、主として精密検査として行う場合のマンモグラフィと超音波の総合画像診断について、解説をしていただきます。

教育セミナー② 治 療

日 時：2016年6月16日（木） 10:30～11:30

会 場：第4会場（東京ビッグサイト 会議棟 7階 国際会議場）

講 師：阿南 敬生（北九州市立医療センター 乳腺甲状腺外科）

乳癌薬物療法の選択では、治療因子と患者因子を考慮します。サブタイプにより推奨される薬物療法の種類が決まっていますが、各薬物療法での薬剤選択順位についても考慮しなければなりません。また患者因子も重要で、最終的にはこの2つの因子により、最も推奨できる治療法と治療順位を組み立てる必要があります。今回、原発乳癌から転移・再発乳癌の薬物療法について、総論と各論についてガイドラインに基づいた解説をしていただく予定です。

注：今回は会場も十分な広さが確保されています。多くの参加者の皆様をお待ちしております。また、クレジットは、診断、治療で各2点つきます。診断と治療の講義の間に受講証配布のため参加者の入れ替えがありますので、ご理解を頂きますようお願いいたします。

病理セミナーのお知らせ

病理セミナーは、日常診療でしばしば遭遇する病変の病理診断に関して、知識を整理し、適切に理解することを目的に企画されました。専門医試験で問われる病理学的な基礎知識の習得を目指した内容です。ご参加の先生方は、まず、病理診断クイズにご解答下さい。学術総会では、このクイズの正解をお示しし、さらに、レクチャーを行います。もちろん、学術総会のレクチャーを聴講するだけでも、明日からの先生方の診療に役立ちます。是非、ご参加ください。

<病理診断クイズ>

病理組織標本は全てバーチャルスライドを用いて観察します。バーチャルスライドは、インターネットを経由して事前に閲覧可能です。第24回日本乳癌学会学術総会または日本乳癌学会のホームページからアクセスしてください。総会会期中も、会場に設置されたPCからバーチャルスライドを閲覧できます。バーチャルスライドのUsernameはJBCS、パスワードは2016です。病理組織標本を観察されたら、病理診断クイズにご解答下さい。

*バーチャルスライドコーナー： 東京ビッグサイト 会議棟 6階 601会議室

*日時：2016年6月16日（木）・17日（金）9：00～17：00、18日（土）9：00～12：00

*バーチャルスライド作成については、浜松ホトニクス株式会社にご協力いただきました。

<解答方法およびバーチャルスライド閲覧終了証（教育セミナー受講票（病理）引換券）の受領方法>

*総会会期前に、あるいは会期中でも会場外で症例を閲覧される方は、ホームページからダウンロードできる解答用メモにご自身の診断を記入し、お手元に残してください。受講票が必要な方は、総会時にバーチャルスライドコーナーで提出用の解答用紙を受け取り、メモを参考に記入し提出して下さい。解答用紙と引き換えにバーチャルスライド閲覧終了証をお渡しします。

*総会会期中に会場で閲覧する人は、バーチャルスライドコーナー受付で解答用メモと解答用紙を受けとってください。PCで症例を閲覧し、解答用メモと解答用紙に解答を記入し、解答用メモは手元に残し、解答用紙を受付に提出してください。バーチャルスライド閲覧終了証をお渡しします。

<レクチャー>

日 時：2016年6月18日（土） 10：20～11：40

会 場：第2会場（東京ビッグサイト 東展示棟 1階 東4・5ホールB）

司 会：堀井 理絵（がん研究会有明病院 病理部）

坂谷 貴司（日本医科大学付属病院 病理診断科）

プログラム：

乳癌における個別化医療のための病理学的biomarker検索の重要性と実際

黒住 昌史（埼玉県立がんセンター 病理診断科）

バーチャルスライド提示症例の解説

小塚 祐司（三重大学医学部附属病院 病理部）

<教育セミナー受講票（病理）の発行について>

受講票は、日本乳癌学会教育・研修委員会が発行するもので、認定医・専門医の資格更新および名誉専門医の申請の際、修練実績点数（1点）として利用できます。受講票を取得するためには、病理診断クイズに解答し、レクチャーを聴講する必要があります。レクチャー終了後、会場出口で、バーチャルスライド閲覧終了証と引き換えに、教育セミナー受講票（病理）を発行します。

画像診断セミナーのお知らせ

画像診断セミナー① 乳房超音波

乳房超音波の画像セミナーを開催します。お時間があるときにお立ち寄り下さい。B-モードの乳房超音波画像を中心にカラー Doppler やエラストグラフィを動画も交えてスライドショーでスクリーンに提示します。合計で10症例提示する予定です。カテゴリー、最も可能性の高い診断名、さらに次に何を行うかをお考え頂きます。マークシートでの解答になります。セミナー修了後に解答を提示します。また、最終日には病理と併せて解説をいたします。

<超音波コーナー>

- ・読影日時：2016年6月16日（木） 9:00～17:00
6月17日（金） 9:00～16:00
- ・解答揭示：2016年6月17日（金） 16:15～17:00
6月18日（土） 9:00～12:00

- ・会場：東京ビッグサイト 会議棟 6階 609会議室

※解答揭示時間は、解答を掲示しますので、自習・自己採点が可能です。ただし、参加証の発行は解答揭示期間前の参加者で、解説を聴講頂いた方に限ります（解答揭示期間のみの参加者に参加証は出ません）。

<解説>

- ・日時：2016年6月18日（土） 9:25～10:05
- ・場所：第2会場（東京ビッグサイト 東展示棟 1階 東4・5ホールB）
- ・司会解説：渡辺 隆紀（国立病院機構仙台医療センター乳癌外科）
位藤 俊一（りんくう総合医療センター外科）
野寄 史（聖路加国際病院 病理診断科）

- ・主催：日本乳癌学会 教育研修委員会
- ・共催：日本乳がん検診精度管理中央機構 教育・研修委員会

画像診断セミナー② マンモグラフィ

今年もマンモグラフィの画像セミナーを行います。ソフトコピー診断への移行が急速にすすんでいる昨今の状況を踏まえ、今年は4Kタブレットでの読影環境をご用意いたします。ソフトコピー診断では、ハードコピーに比較し白黒調が制限されているために、濃度上昇部位に直目していく、という読影スキルが通用しなくなってきました。悪性度の高いといわれる Triple negative タイプや HER2 陽性タイプの浸潤癌は、石灰化や distortion 所見は少なく、density のみで描出され、エコー検査では検出できるが、マンモグラフィでは、検出すら困難であることを経験します。本セミナーでは、これらの悪性度の高い乳がんをどのように読影すれば、早期発見につながるのか、また、これらの乳がんの早期の病態について解説していきたいと考えております。

<マンモグラフィコーナー>

- ・読影日時：2016年6月16日（木） 9:00～17:00
17日（金） 9:00～16:00
- ・解答揭示：2016年6月17日（金） 16:15～17:00
18日（土） 9:00～12:00

- ・会場：東京ビッグサイト 会議棟 6階 610会議室

※解答揭示期間は、解答を掲示しますので、自習・自己採点が可能です。ただし、参加証の発行は解答揭示期間前の参加者で解説を聴講いただいた方に限ります（解答揭示期間のみの参加者に参加証は出ません）。

<解説>

- ・日時：2016年6月18日（土） 8:30～9:10
- ・会場：第2会場（東京ビッグサイト 東展示棟 1階 東4・5ホールB）
- ・司会解説：森田 孝子（名古屋医療センター 乳腺科）
丹羽 多恵（豊田厚生病院 乳腺外科）
森谷 鈴子（滋賀医科大学 病理診断科）
- ・技術支援：篠原 範充（岐阜医療科学大学 保健科学部放射線技術学科）
- ・主催：日本乳癌学会 教育研修委員会
- ・共催：日本乳がん検診精度管理中央機構 教育・研修委員会

診療ガイドライン委員会企画プログラムのご案内

診療ガイドラインのこれから

ー歴代委員長からみた現在の乳癌診療ガイドラインの問題点ー
問題点を踏まえ、さらによりガイドラインとするには

日 時：2016年6月16日（木） 9:00～10:10

会 場：第3会場（東京ビッグサイト 東展示棟 1階 東4・5ホールC）

診療ガイドラインは、単に新しいデータや医療情報を取りいれて内容を機械的に刷新すればよいのではなく、時代やその時々
の医療状況をも加味した標準治療を現場に提示する重要な役割を担う。そこには現場からの意見、あるいは専門家、エキスパー
トからの意見を積極的に取り入れ常に試行錯誤しながらより良いものとする努力が欠かせない。一方で、診療ガイドラインを
策定するには大変な労力と地道な作業を要する。

本セッションでは、ガイドライン策定の大変さを一番理解されている前委員長の先生方より診療ガイドライン2015年版に対
する注文と、修正が必要な点を挙げて頂き、それに応える形で現在のガイドライン執筆責任者より回答する、というスタイル
で会を進めたい。単なるガイドライン批判とは一線を画す策定経験者ならではの建設的なご意見とそれに対するアイデアが期
待でき、議論を通じてさらにレベルの高いガイドラインを目指してゆきたい。

〈全 般〉 中村 清吾（前委員長）－ 伊藤 良則（現副委員長）

〈薬 物〉 稲治 英生（前委員長）－ 遠山 竜也（現副委員長）

〈外 科〉 池田 正（前委員長）－ 井口 雅史（現副委員長）

〈検診・診断〉 大内 憲明（前委員長）－ 戸崎 光宏（現委員長）

司 会：向井 博文（日本乳癌学会診療ガイドライン委員会 委員長）

専門医制度委員会企画プログラムのご案内

－ 乳腺専門医についてのQ&A －

日 時：2016年6月16日（木） 10:20～11:30

会 場：第5会場（東京ビッグサイト 会議棟 1階 レセプションホールB）

日本乳癌学会理事会、専門医制度委員会は昨年以下のような声明をホームページ上に発表し、会員の皆様からコメントを頂戴して参りました。

今回は、専門医制度委員会の代表として、岩瀬弘敬、井本 滋、丹黒 章の3名により、専門医制度の現状、展望について会場と「乳腺専門医についてのQ&A」として、議論を深めたいと思います。当日のアンケートにて皆様のご意見を聴取し、お答えするあるいは宿題とさせて頂きたいと思います。奮ってご参加いただけましたら幸いです。

- 1) 学会が認定する乳腺専門医から、機構が認定する乳腺専門医への移行を目指します。
- 2) 乳腺専門医・研修プログラム整備基準を参考にして、各基幹施設・関連施設が独自のプログラムを作成し、機構の承認を経て乳腺専門医を育成します。
- 3) 外科専門医と総合内科専門医を修了した専攻医を対象としたプログラムを検討して参ります。手術療法については外科専門医を修了した専攻医を対象にいたします。
- 4) 現行の乳腺専門医は機構の更新条件を加味した移行措置に基づいて、順次新たな乳腺専門医として認定されます。
- 5) 放射線科、産婦人科、形成外科などからの乳腺専門医の取得の可能性とこれらを基盤とした際の乳腺専門医の処遇につきまして検討して参ります。
- 6) 現行の認定施設でのカリキュラムに基づく研修と認定医からの専門医取得は期限を設定し廃止されることになります。従って、認定医、認定施設の存続の可否につきましても検討して参ります。

司会、ファシリテーター

日本乳癌学会専門医制度委員長

岩瀬 弘敬

講演1. 「新乳腺専門医プログラムと現乳腺専門医の移行措置について」

日本乳癌学会専門医制度委員会 副委員長、試験問題作成委員会 委員長

井本 滋

講演2. 「新乳腺専門医における施設認定・資格認定のありかた」

日本乳癌学会資格認定委員会 委員長

丹黒 章

第3回臨床試験協議会のご案内

日 時：2016年6月18日（土） 10:20～11:40

会 場：第5会場（東京ビッグサイト 会議棟 1階 レセプションホールB）

司 会：平田 公一（JR札幌病院）

向井 博文（国立がん研究センター東病院 乳腺・腫瘍内科）

「学会が進める臨床試験のインフラ整備と目指す方向性」

向井 博文

「モニタリング、監査の意義とやり方」

国立がん研究センター 中央病院 臨床研究支援室

中村 健一

「各臨床試験グループの現状と問題点」

JBCRG 大野 真司

JCOG 岩田 広治

WJOG 高野 利実

CSPOR-BC 相原 智彦

JONIE study 河野 範男

KBOG 津川浩一郎

臨床試験グループが互いに連携しあい情報交換を図ることは、我が国の臨床研究全体のアクティビティを上げることにつながると思います。臨床試験は研究者集団だけで実施できるものではありません。統計専門家、データマネジメントの専門家をはじめとするデータセンターのスタッフ、支援企業が存在、そして事務局スタッフ、など多数の人々が関与しています。本協議会では臨床試験に関係するすべての方にご参集頂き、学会が現在行っている臨床試験のインフラ整備と目指している方向性について広く知って頂くと同時に、各臨床試験グループの現状と問題点を明らかにし、今後乳癌領域における臨床研究をどうしていくべきかについて議論できればと思います。

ディベートセッションのご案内

温存 vs 乳切再建 ～整容性と根治性のバランス～

日 時：2016 年6 月18 日（土） 8:30～10:00

会 場：第1会場（東京ビッグサイト 東展示棟 1階 東4・5 ホールA）

一次再建が保険適応となつてから乳房切除の割合が増えている。今まで無理をして部分切除を行ってきたような症例は、乳房切除と再建で整容性の優れた乳房を得ることが容易になったが、部分切除で自身の乳房を安全に残せる可能性のある患者まで安易に乳房切除と再建に流れている感がある。人工物には違和感やその後の破損の問題などのデメリットもあり、自分自身の温かくやわらかい乳房を安全に残せるのであれば、乳房温存のメリットはとても大きいものと思われる。本セッションでは症例を元にそれぞれの立場から、乳房を残すか残さないか、皮膚を残すか残さないか、乳頭を残すか残さないか、最終的にはどういう治療を選択すべきか熱く討論して頂き、共に考える機会を持ちたい。

座 長：

澤泉 雅之（がん研有明病院 形成外科）

矢形 寛（埼玉医科大学総合医療センター プレストケア科）

今回は「温存派」、「全摘＋再建派」に分かれ、2 症例についてディベートを行います。

A チーム：

林 直輝（聖路加国際病院プレストセンター 乳腺外科）

花村 典子（三重大学 乳腺外科）

B チーム：

坂井 威彦（がん研有明病院 乳腺センター）

枝園 忠彦（岡山大学 呼吸器・乳腺内分泌外科）

コメンテーター：

佐武 利彦（横浜市立大学附属市民総合医療センター 形成外科）

看護セミナーのお知らせ

テーマ：「手術療法後の治療方針と看護の役割」～病理レポートの理解と術後治療選択への支援～

日 程：2016年6月18日（土） 8:30～10:30

会 場：第4会場（東京ビッグサイト 会議棟 7階 国際会議場）

* 第24回日本乳癌学会学術総会への参加の方のみ、本セミナーに参加できます。

看護セミナーのみの参加受付はございません。

内 容：

乳がん手術後の治療選択において患者を支援するためには、病理レポートの結果からどのような治療選択が提案されるのかを、看護師として理解することが求められている。本セミナーでは、医師の立場から病理レポートの読み方と治療方針の決定について解説します。また、手術後の治療選択における患者への支援について臨床での実践を交えながら看護師の立場で解説します。

【プログラム】

8:30～9:30

教育講演1 「病理レポートの読み方と治療方針（医師の立場から）」

座長：阿部 恭子（千葉大学大学院 看護学研究科）

演者：鈴木 正人（国立病院機構 千葉医療センター 乳腺外科）

9:30～10:30

教育講演2 「病理結果をもとにした術後治療選択への看護支援」

座長：金澤麻衣子（東北大学病院 看護部）

演者：荒堀 有子（市立鉏路総合病院 看護部）

患者セミナーのお知らせ

主催：第24回日本乳癌学会学術総会

主として患者さんを対象に、乳がん治療に関する最新の動向を共有するため、今回の学会でのトピックスや海外を含めた昨今の治療動向について学びます。

日 時：2016年6月18日（土） 13：10～16：00

会 場：第5会場（東京ビッグサイト 会議棟 1階 レセプションホールB）

座 長：柏葉 匡寛（さがらプレストピアヘルスケアグループ プレストピア宮崎病院）
桜井なおみ（NPO法人HOPEプロジェクト）

13：10～13：15 患者セミナー概要説明

・桜井なおみ（NPO法人HOPEプロジェクト）

13：15～13：20 Moment of silence

・桜井なおみ（NPO法人HOPEプロジェクト）

13：20～13：50 手術療法のトピックス

・藤澤 知巳（群馬県立がんセンター 乳腺科）

※うち10分程度質疑応答

13：50～14：20 放射線療法のトピックス（脳転移治療を中心に）

・山内智香子（滋賀県立成人病センター 放射線治療科）

※うち10分程度質疑応答

14：20～14：50 休憩 ＜待合室でできるリラックス呼吸法＞

14：50～15：20 乳がんサバイバーシップ

・金澤麻衣子（東北大学病院 看護部）

※うち5分程度質疑応答

15：20～15：50 薬物療法のトピックス（治療耐性のメカニズムなど）

・吉波 哲大（大阪府立成人病センター 臨床腫瘍科）

※うち10分程度質疑応答

15：50～16：00 閉会の辞

・岩瀬 弘敬（熊本大学大学院生命科学研究部 乳腺・内分泌外科学分野）

参加費無料、事前参加申し込みは不要です。

詳細は第24回日本乳癌学会学術総会ホームページ（<http://www.congre.co.jp/24jbcs/>）をご覧ください。

がん研超音波検査室企画のお知らせ

テーマ：とある超音波室より愛を込めて

乳腺超音波検査のこれまでの道のりは、正直、楽なものではありませんでした。「乳腺を超音波で観察する」技術と手法が十分に確立されていない中で、日本全国の超音波室のスタッフは職種を越え、若いも若きも力を合わせ、少しずつ前進してきました。

そして今、ようやく「乳腺診療に超音波検査は不可欠」と胸を張って言えるところまでたどり着きました。

今、超音波検査室で、わたしたちは乳腺の何を見ているのか。どのように他のモダリティと連携を行い治療に結びつけるのか。私達の現在の到達点をご紹介します。

開催時間： 2016年6月16日（木） 9:30～16:00
 2016年6月17日（金） 9:30～16:00
 2016年6月18日（土） 9:30～12:00

会場：東京ビッグサイト 東展示棟 1階 東4・5ホール 展示会場内

〈動画／パネル展示コーナー〉＊超音波検査室スタッフが質問にお答えします。

正常構造と腺葉単位：正常な解剖学的構造をたどりながら観察する方法は、全ての画像診断の基本です。我々は、超音波で見えている乳腺画像が正常解剖の何を観ているのかを解明しました。今では乳腺正常構造の流れを追う事が超音波観察の基本となりました。病変は「正常構造からの逸脱部」として検出します。

distortion：正常構造の逸脱のうち「distortion」に気づいた事が、私たちにとって最も衝撃的な事でした。そして乳腺には乳管の立体構築が構造的に歪んでいる部位があります。Distortionと乳腺構造の歪みの違いをみてみましょう。

MRI2ndLookUS：手術前の他病変の検索、広がり診断にMRIは欠かせません。MRIで指摘された小さな淡い病変を、超音波で解剖学的な構造を目安にしながら的確に同定する方法を解説します。実際に行われたMRI2ndLookUSで同定された超音波画像をもとに展示します。

〈トレーニングファントムコーナー〉

乳腺正常構造の流れを超音波で観察するためには、腺葉の重なりを認識する事が重要です。腺葉単位をわかりやすく示した新しいファントムを使って、「基本の重なり方」の観察をトレーニングしてみませんか？

「最新超音波機器＋ファントム」を3セットご用意してお待ちしています。

＊新しい乳房腺葉ファントム作成については、株式会社京都科学にご協力頂きました。

〈女性学会員限定体験コーナー -あなたの乳腺一緒に観ませんか？-〉＊予約制

乳腺の正常構造は実際にどのように見えるのでしょうか？あなたの乳腺を超音波で一緒に観ながら、正常構造や観察法を解説します。スペシャリストのプロブの操作や圧迫の加減などを実際に体験してみる事で、皆さんの技術向上にお役立て頂ければと思います。がん研超音波室選りすぐりの女性技師が施行し、女性医師が解説いたします。

また、最終日は全乳房自動超音波検査法による超音波検査を体験頂けます。

1グループ 1～3人 20分間 日本乳癌学会会員限定 事前予約が必要です。

※予約方法等詳細につきましては第24回日本乳癌学会学術総会ホームページ(<http://www.congre.co.jp/24jbcs/>)をご確認ください。

解説医師： 何森亜由美（高松平和病院 乳腺外科、がん研有明病院乳腺センター（2010.01～2016.03））

國分 優美（がん研有明病院 画像診断部）

その他研究会・関連会合のお知らせ

2016年第2回乳房再建用エキスパンダー／インプラント講習会

日 時：2016年6月18日（土） 15：20～17：20

会 場：第4会場（東京ビッグサイト 会議棟 7階 国際会議場）

受 講 対 象：日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会員、
乳房再建用エキスパンダー／インプラント講習会受講希望医師

定員500名（定員になり次第締め切ります）

受 講 料：日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会員：10,000円

非会員の医師：15,000円

プログラム：1. 使用要件基準（ガイドライン）の概略

三鍋 俊春（埼玉医科大学総合医療センター 形成外科・美容外科）

2. 製品説明およびインフォームドコンセントについて

アラガン・ジャパン株式会社

3. 乳がん手術における乳房温存手術、一次、二次乳房再建の適応とティッシュエキスパンダー挿入術

中島 一毅（川崎医科大学 総合外科学）

4. 一次乳房再建

ーティッシュエキスパンダー挿入術およびシリコンインプラント挿入術ー

矢島 和宜（蘇春堂 形成外科）

5. Delayed reconstruction：人工物選択と手技のコツ

岩平 佳子（プレストサージャリークリニック 院長）

6. Q & A

乳癌低侵襲治療研究会 世話人会

日 時：2016年6月16日（木） 15：00～16：00

会 場：東京ビッグサイト 会場棟 7階 703会議室

お問合せ先：杏林大学医学部付属病院 乳腺外科内

乳癌低侵襲治療研究会事務局

担 当：高野 和美

TEL 0422-47-5511（代表）

日本産婦人科乳腺医学会 常務理事会

日 時：2016年6月17日（金） 7：30～8：30

会 場：東京ビッグサイト 東展示棟 2階 東5-商談室（3）

出 席：常務理事・幹事（別途ご案内致します）

お問合せ先：一般社団法人日本産婦人科乳腺医学会事務局

TEL 03-3263-8697 FAX 03-3263-8687

E-mail jbsgo@secretariat.ne.jp

臨床試験グループ代表者会議

主 催：日本乳癌学会臨床試験小委員会

日 時：2016年6月18日（土） 15:00～17：00

会 場：第7会場（東京ビッグサイト 会議棟 6階 605・606会議室）

参 加 費：無料（乳癌学会事務局へ事前申し込みが必要）

司会 向井 博文

- ・会議の趣旨説明と目的
- ・各臨床試験グループから症例登録を募集したい研究の紹介
- ・地域の臨床試験グループ研究のうちでPhase IIIに持ち込みたい試験の提案
- ・臨床試験グループ同士のコラボの可能性について

日本がん看護学会 乳がん看護SIGミーティング

日 時：2016年6月18日（土） 15：00～16：30

会 場：第8会場（東京ビッグサイト 会議棟 6階 607会議室）

対 象：乳がん看護に関心がある看護職者（日本がん看護学会の会員・非会員を問いません）

参 加 費：無料（事前申し込み不要、入退場自由）

内 容：日本がん看護学会 SIG (Special Interest Group) とは、特定のテーマに関心のある学会員が集って、学習会や情報交換などの活動を行っているグループです。このミーティングでは、乳がん看護SIGの活動を紹介します。また、地域ごとに分かれて情報交換を行います。会員・非会員に関わらず看護師同士のネットワークを深めていきましょう。

担 当：日本がん看護学会乳がん看護SIG代表 阿部 恭子

TEL 043-226-2783

CSPOR-BC 研究者会議（対象：乳がんの臨床研究に興味がある方）

日 時：2016年6月18日（土） 15：15～16：45

会 場：第9会場（東京ビッグサイト 会議棟 6階 608会議室）

座 長：大橋 靖雄（中央大学理工学部 人間総合理工学科）

相原 智彦（相原病院 プレストセンター）

テ ー マ：CSPOR-BCで行っている臨床研究についての討議

参 加 費：無料（事前申し込み不要、入退場自由）

プログラム：

15：15～各臨床研究の進捗状況について

【ABROAD試験】演者：原 文堅（四国がんセンター 乳腺科・化学療法科）

課題名：

転移性乳がん患者におけるアブラキサン（3週毎投与法）の至適用量を検討するランダム化第Ⅱ相臨床試験

【BSI研究】演者：中村 力也（千葉県がんセンター 乳腺外科）

課題名：

乳がん骨転移におけるBone scan indexの有用性に関するコホート研究

【FN研究】演者：石川 孝（東京医科大学 乳腺科学分野）

課題名：

乳癌の術前・術後化学療法における発熱性好中球減少症に関する観察研究

15：35～【HORSE-BC研究】演者：平 成人（岡山大学病院 乳腺・内分泌外科）

課題名：

内分泌療法耐性エストロゲン受容体陽性転移乳がんに対する二次内分泌療法のコホート研究

16：00～【RESQ試験】演者：高橋 将人（北海道がんセンター 乳腺外科）

課題名：

HER2陰性転移・再発乳がん患者を対象にエリブリンとS1のhealth-related quality of life (HRQoL) を比較するランダム化第Ⅲ相試験

16：15～【クロエ試験】演者：枝園 忠彦（岡山大学病院 乳腺・内分泌外科）

課題名：

ホルモン剤に感受性を有する閉経後ER陽性HER2陰性転移乳がんに対するエベロリムスの追加効果を検討するランダム化第Ⅱ相臨床試験

16：30～質疑応答

お問合せ先：一般社団法人CSPOR-BC事務局 島崎 まさみ

TEL 03-5294-7288 FAX 03-5294-7290 E-mail office-bc@cspor-bc.or.jp

妊娠関連乳癌の早期発見を目的とした妊婦乳房検診に関する事業報告会
ー多施設共同研究集計経過報告ー

日 時：2016年6月18日(土) 15:30～17:00

会 場：第6会場(東京ビッグサイト 会議棟 1階 101会議室)

参 加 費：無料(参加資格は乳癌検診に関わる医療関係者)

お問合せ先：一般社団法人日本産婦人科乳癌医学会事務局

TEL 03-3263-8697 FAX 03-3263-8687

E-mail jbsgo@secretariat.ne.jp

患者セッションのお知らせ

こころと身体のサポーターケア～体験者と医療者のために～

主催：患者セッション実行委員会

日 時：2016年6月17日（金）9:40～16:20

会 場：第8・9会場（東京ビッグサイト 会議棟 6階 607・608会議室）

※参加費は無料ですが、事前申し込みが必要です。

※ランチョンセミナーのお弁当は1,000円での販売となり、事前申し込みが必要です。（限定200個）

詳細は第24回日本乳癌学会学術総会ホームページ（<http://www.congre.co.jp/24jbcs/>）をご覧ください。

9:40～10:30 患者セッション1

乳がんサバイバーの自分らしい生き方と「おかネ」、「働く」を考える

～乳がんと経済的リスクとその現状について～

座 長：金井 久子（聖路加国際病院 看護部）

演 者：橋本久美子（聖路加国際病院 相談支援センター）

黒田 尚子（ファイナンシャルプランナー）

10:50～11:40 患者セッション2

メディカルヨガの提案

「心と体、そして生活をサポートする 全人的ケアとしてのヨガセラピー」

講 師：岡部 朋子（ルナワークス）

12:00～12:50 ランチョンセミナー

乳がん患者のためのお弁当を美味しく食べて元気になろう！

座 長：増田 美加（医療ジャーナリスト）

演 者：渡邊美和子（東京ミッドタウンクリニック）

13:10～14:00 患者セッション3

乳癌の術後ケアの為にピラティス

講 師：辻 茜（一般社団法人ウィメンズヘルス協会）

実演者：多田奈津子（合同会社Aulii）

岩沢 英美（合同会社Aulii）

原 恭子（合同会社Aulii）

善田 正子（合同会社Aulii）

高塚 苑美（一般社団法人ウィメンズヘルス協会）

14:20～15:10 患者セッション4

今求められる、がん患者のアピアランス（外見）支援、その背景と実践

座 長：山崎多賀子（美容ジャーナリスト）

演 者：野澤 桂子（国立がん研究センター中央病院 アピアランス支援センター）

池田 真理（東京女子医科大学看護学部看護管理教室/Beauty Ring）

15:30～16:20 患者セッション5

乳がんになったら、運動しよう！ 安全に運動するための知識と方法を学びましょう

座 長：広瀬眞奈美（一般社団法人キャンサーフィットネス）

演 者：辻 哲也（慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室）

立松 典篤（国立がん研究センター東病院リハビリテーション科）

広瀬眞奈美（一般社団法人キャンサーフィットネス）

市民イベントのお知らせ

FUN! and LIFE! Breast Cancer Festival ～自分らしく今日を生きるために～

主 催 Breast Cancer Festival 実行委員会
共 催 第24回日本乳癌学会学術総会
公益財団法人がん研究会 がん研有明病院
後 援 厚生労働省、東京都、日本医師会、東京都医師会、日本対がん協会（予定）

開催日時 2016年6月19日（日） 9：00開会式、 13：00閉会

開催場所 がん研有明病院（イベント会場）

東京都江東区有明3-8-31

東京臨海広域防災公園（ラン&ウォーク）

東京都江東区有明3-8-35

プログラム

- ・防災公園を使ったサンキューミニマラソン“Run & Walk”
- ・乳がん患者さんがモデルになる“ファッションショー”
- ・治療費や仕事など経済的な悩みに答える“トークショーと相談コーナー”
- ・複数の乳がん体験者たちと“自由に話せるコーナー”
- ・誰でもできる“簡単な運動を教えるコーナー” 体力測定も！
- ・看護師さんとのおしゃべり相談コーナー
- ・ハンドリフレ&ネイルサービス

参加方法等詳細につきましては、第24回日本乳癌学会学術総会ホームページ（<http://www.congre.co.jp/24jbcs/>）をご覧ください。

第25回日本乳癌学会学術総会のお知らせ

テーマ：「新たな一歩 –ライフサイエンス研究の進歩–」
“A New Step –Advances in Life Science Research–”

会 期：2017年7月13日（木）～15日（土）

会 場：マリンメッセ福岡
〒812-0031 福岡市博多区沖浜町7-1
TEL：092-262-3111（代）
福岡国際会議場
〒812-0032 福岡市博多区石城町2-1
TEL：092-262-4111（代）



会 長：岩瀬 弘敬（熊本大学大学院生命科学研究部 乳腺・内分泌外科学分野）

実行委員長：山本 豊（熊本大学大学院生命科学研究部 乳腺・内分泌外科学分野）

事 務 局：第25回日本乳癌学会学術総会 運営事務局
日本コンベンションサービス株式会社 九州支社
〒810-0002 福岡市中央区西中洲12-33 福岡大同生命ビル7階
TEL: 092-712-6201 FAX: 092-712-6262
E-mail: 25jbcs@convention.co.jp
URL: <http://www2.convention.co.jp/25jbcs/>

海外招待講演者のご紹介



中村 祐輔

Yusuke Nakamura, MD, PhD

シカゴ大学医学部内科・外科 教授

■特別講演

6月17日(金) 14:10-14:40 第1会場(東展示棟 1階 東4・5ホールA)

略 歴

1977年大阪大学医学部卒業、大阪大学医学部付属病院外科ならびに関連施設での外科勤務を経て、1984 - 1989年ユタ大学ハワードヒューズ研究所研究員、医学部人類遺伝学教室助教授。1989 - 1994年(財)癌研究会癌研究所生化学部長。1994年東京大学医科学研究所分子病態研究施設教授。1995 - 2011年同研究所ヒトゲノム解析センター長。2005 - 2010年理化学研究所ゲノム医科学研究センター長(併任)。2011年内閣官房参与内閣官房医療イノベーション推進室長を経て、2012年4月よりシカゴ大学医学部内科・外科教授 兼 個別化医療センター副センター長。



Louis Wing-Cheong Chow, MBBS, FRCS, FCS, FHKAM, MS

Executive Director

Organisation for Oncology and Translational Research, Hong Kong SAR, China

■ International Seminar "International trends: Global aspect of axillary management"

6月16日(木) 16:30-18:00 第1会場(東展示棟 1階 東4・5ホールA)

■ パネルディスカッション1 「薬物療法を受けている患者のQOL: 多職種からのアプローチ」

6月16日(木) 14:40-16:10 第1会場(東展示棟 1階 東4・5ホールA)

略 歴

Professor Louis WC Chow is Executive Director of the Organisation for Oncology and Translational Research in Hong Kong; Medical Director of UNIMED Medical Institute in Hong Kong; a distinguished professor of Macau University of Science and Technology; an honorary professor of the Third Military Medical University in Chongqing, China; a visiting professor at Jiujiang University in China; an honorary professor at Ningxia Medical College School of Clinical Medicine in Ningxia, China; an honorary professor at Tohoku University in Sendai, Japan; visiting professor at Wuhan University of Science and Technology; and an honorary consultant of Kiang Wu Hospital in Macau. Professor Chow was the immediate past honorary clinical professor of the clinical trials centre at The University of Hong Kong, past president of the Asian Breast Cancer Society, and former honorary secretary of The Hong Kong Academy of Medicine. Professor Chow is an expert in cancer research and has obtained a patent on a mouse cell line derived from human malignant cystosarcoma phylloides. In the past few years, he has obtained various research and professional grants for cancer research purposes in the university, and contributed as principal investigator or co-investigator of several international clinical trials. Professor Chow has published more than 190 articles in peer-reviewed journals. His key research interests are breast cancer molecular therapy, chemoresistance, chemoprevention, and translational research in breast cancer. Professor Chow was awarded The Kim Hyun-Jib Breast Cancer Research Memorial Award in 2012.



Mehra Golshan, MD, FACS

Dr. Abdul Mohsen and Sultana Al-Tuwaijri Distinguished Chair in Surgical Oncology/Associate Professor of Surgery Harvard Medical School
Medical Director of the International Oncology Programs Dana Farber Cancer Institute and Brigham and Women's Hospital, USA

- International Seminar "International trends: Global aspect of axillary management"
6月16日(木) 16:30-18:00 第1会場(東展示棟 1階 東4・5ホールA)
- ワークショップ3「命にかかわらない乳癌をいかに見極められるか」
6月17日(金) 8:30-11:40 第2会場(東展示棟 1階 東4・5ホールB)

略 歴

Education

1996 MD, Case Western Reserve University School of Medicine; Cleveland Ohio

Faculty Academic Appointments

2002-2003 Fellow in Surgery, Department of Surgery, Northwestern University School of Medicine
2003-2006 Instructor in Surgery, Department of Surgery, Harvard Medical School
2006- Assistant Professor of Surgery, Department of Surgery, Harvard Medical School
2012- Associate Professor of Surgery, Department of Surgery, Harvard Medical School

Major Administrative Leadership Positions

Local

2007-2015 Director of Breast Surgical Services, Dana Farber/Brigham and Women's Cancer Center
2009- Director of Breast Surgery Fellowship, Brigham and Women's Hospital, Dana Farber Cancer Institute
2014- Cancer Liaison Physician/Cancer Committee Chair, Dana Farber/Brigham and Women's Cancer Center
2015- Medical Director International Oncology Programs, Dana Farber Cancer Institute, Brigham and Women's Hospital



Wonshik Han, MD, PhD

Professor, Department of Surgery and Cancer Research Institute, Seoul National University College of Medicine/Chief of the Breast Care Center, Seoul National University Cancer Hospital, Korea

- International Seminar "International trends: Global aspect of axillary management"
6月16日(木) 16:30-18:00 第1会場(東展示棟 1階 東4・5ホールA)
- ワークショップ6「日本の乳癌シーンを変革する地域連携」
6月18日(土) 8:30-10:00 第5会場(東展示棟 1階 レセプションホールB)

略 歴

Education

1994 M.D.: Seoul National University College of Medicine (Summa cum laude)
2003 M.S.: Seoul National University College of Medicine
2005 Ph.D.: Seoul National University College of Medicine

Faculty appointment

2004-2005 Clinical Assistant Professor, Department of Surgery, Seoul National University Hospital
Mar 2006 - Assistant Professor, Department of Surgery
Seoul National University College of Medicine
Apr 2010- Associate Professor, Department of Surgery
Seoul National University College of Medicine
Oct 2009- Joint Appointment of Faculty Members
Seoul National University Cancer Research Institute
Mar 2015- Professor, Department of Surgery
Seoul National University College of Medicine



Chiun-Sheng Huang, MD, PhD, MPH

Professor of Surgery and Director of Breast Center,
National Taiwan University Hospital, National Taiwan University College of Medicine, Taiwan

- International Seminar “International trends: Global aspect of axillary management”
6月16日(木) 16:30-18:00 第1会場(東展示棟 1階 東4・5ホールA)
- ワークショップ2「センチネルリンパ節生検：腋窩郭清省略の現状と展望」
6月17日(金) 15:20-16:50 第1会場(東展示棟 1階 東4・5ホールA)

略 歴

Chiun-Sheng Huang is a professor of surgery and director of breast center at the National Taiwan University Hospital and the National Taiwan University College of Medicine, Taipei, Taiwan.

Dr Huang has dedicated his career to the prevention and treatment of breast cancer. His areas of research include: the use of ultrasound in breast cancer screening; single nucleotide polymorphism as susceptibility and prognostic factor for breast cancer; and development of new regimens and biomarkers using neoadjuvant therapy. Dr. Huang is the president of Taiwan Breast Cancer Consortium and has been the study chair of a nationwide randomized trial of breast cancer screening using ultrasound and mammography for women aged 40-49, and a multi-national randomized trial of active immunotherapy in metastatic breast cancer. He is also a Steering Committee member in three global trials investigating two anti-Her-2 target therapies.



Andrew D. Seidman, MD

Attending Physician, Breast Cancer Medicine Service, Memorial Sloan Kettering Cancer Center, USA

- ワークショップ4 「乳癌個別化診断への多様なアプローチ」
6月17日(金) 15:20-16:50 第2会場(東展示棟 1階 東4・5ホールB)

略 歴

Dr. Andrew D. Seidman is an Attending Physician for the Breast Cancer Medicine Service, Memorial Sloan-Kettering Cancer Center, and Professor of Medicine, Weill Cornell Medical College. He received his medical school training in Philadelphia at the Hahnemann University School of Medicine and a residency in Internal Medicine at The Pennsylvania Hospital. He then completed a fellowship in Medical Oncology and Hematology at MSKCC. Dr. Seidman is the recipient of a Career Development Award from the American Society of Clinical Oncology (ASCO) for his clinical research evaluating the role of the taxanes in breast cancer treatment. Dr. Seidman has authored over 140 peer-reviewed publications, reviews and chapters, edited two textbooks, and has served on the editorial boards of many leading journals, including the *Journal of Clinical Oncology* and *Clinical Breast Cancer*. He is an Editor for *The ASCO Post* and *Clinical Oncology News*. Dr. Seidman has served as Member and Principal Investigator for the Cancer and Leukemia Group B Breast Committee. He has served on the Department of Defense Breast Cancer Research Program Integration Panel, and as a charter member of the Susan G. Komen Foundation's Scientific Advisory Council. He is the 2003 recipient of the Gay Clark Stoddard Memorial Award, awarded by the Komen Foundation to a health care professional who consistently goes out of his/her way to provide compassionate, exceptional care to breast cancer patients. He received the Jacob Ehrenzeller Award from Pennsylvania Hospital in 2007 for outstanding achievements and service in medicine. Dr. Seidman is a Past President of the American Society of Breast Disease (1999-2001). His major present research focus is on translational clinical trials and correlative science in the management of metastatic breast cancer.



Christopher Twelves, MD

Professor, Clinical Cancer Pharmacology and Oncology, Leeds Institute of Cancer & Pathology, University of Leeds, UK

■パネルディスカッション6 「乳癌内分泌療法におけるリスク・ベネフィット」
6月18日(土) 10:10-11:40 第1会場(東展示棟 1階 東4・5ホールA)

略 歴

Dr Chris Twelves is Professor of Clinical Cancer Pharmacology and Oncology and Head of Section of Oncology and Clinical Research at the Leeds Cancer Research UK Centre.

He is a medical oncologist with a particular interest in new drug development and clinical pharmacology; his clinical practice has been in colorectal and breast cancer.

After training as an oncologist in London he was Senior Lecturer, then Reader, in Medical Oncology in Glasgow at the Beatson Oncology Centre before taking up his current post at the University of Leeds and St James's Institute of Oncology.

Prof Twelves heads the Experimental Cancer Medicine Centre in Leeds and has been a member of the Cancer Research UK New Agents Committee and Chair of the New Drug Development Group of the EORTC. He has been involved in the development of several important new agents including capecitabine, and eribulin. Professor Twelves has a particular interest in early clinical trials and pharmacokinetics including intra-tumoural drug pharmacokinetics.

Professor Twelves has published over 200 papers in journals including the New England Journal of Medicine, Lancet and Journal of Clinical Oncology and spoken at numerous international meetings. He has also edited, or contributed to, several books including one on Phase I clinical trials and another on the design of Phase II clinical trials.



上野 直人/Naoto T. Ueno, MD, PhD, FACP

Professor of Medicine, Nylene Eckles Distinguished Professor in Breast Cancer Research/Executive Director, Morgan Welch Inflammatory Breast Cancer Research Program and Clinic/Chief, Section of Translational Breast Cancer Research, The University of Texas MD Anderson Cancer Center, USA

■パネルディスカッション2 「トリプルネガティブ乳癌への挑戦」
6月17日(金) 10:10-11:40 第3会場(会議棟 1階 レセプションホールB)

略 歴

1989 M.D., Wakayama Medical College Wakayama, Japan
1990 Clinical Internship United States Naval Hospital Yokosuka, Kanagawa, Japan
1991 Internal Medicine Montefiore University Hospital University of Pittsburgh - Pittsburgh, PA
1993 Internal Medicine University of Pittsburgh Medical Center Pittsburgh, PA
1993 - Present Professor, The University of Texas MD Anderson Cancer Center - Houston, TX
1996 Clinical Fellowship The University of MD Anderson Cancer Center - Houston, TX
1999 Ph.D. The University of Texas Graduate School of Biomedical Sciences - Houston, TX

Specialty and Research Field of Interest

Medical Oncology and Translational Breast Cancer Research
Triple Negative Breast Cancer, Inflammatory Breast Cancer, Drug Development

Recent Selected Publications

1. Bartholomeusz C, Xie X, Pitner MK, Kondo K, Dadbin A, Lee J, Saso H, Smith PD, Dalby KN, Ueno NT. MEK Inhibitor Selumetinib (AZD6244; ARRY-142886) Prevents Lung Metastasis in a Triple-Negative Breast Cancer Xenograft Model. *Mol Cancer Ther.* 2015;14(12):2773-81. doi: 10.1158/1535-7163.MCT-15-0243. PubMed PMID: 26384399; PMCID: PMC4674314.
2. Le Du F, Eckhardt BL, Lim B, Litton JK, Moulder S, Meric-Bernstam F, Gonzalez-Angulo AM, Ueno NT. Is the future of personalized therapy in triple-negative breast cancer based on molecular subtype? *Oncotarget.* 2015;6(15):12890-

908. doi: 10.18632/oncotarget.3849. PubMed PMID: 25973541; PMCID: PMC4536987.

3. Kai K, Iwamoto T, Kobayashi T, Arima Y, Takamoto Y, Ohnishi N, Bartholomeusz C, Horii R, Akiyama F, Hortobagyi GN, Pusztai L, Saya H, Ueno NT. Ink4a/Arf(-/-) and HRAS(G12V) transform mouse mammary cells into triple-negative breast cancer containing tumorigenic CD49f(-) quiescent cells. *Oncogene.* 2014;33(4):440-8. doi: 10.1038/ncr.2012.609. PubMed PMID: 23376849; PMCID: 3957346.
4. Masuda H, Baggerly KA, Wang Y, Zhang Y, Gonzalez-Angulo AM, Meric-Bernstam F, Valero V, Lehmann BD, Pietenpol JA, Hortobagyi GN, Symmans WF, Ueno NT. Differential response to neoadjuvant chemotherapy among 7 triple-negative breast cancer molecular subtypes. *Clin Cancer Res.* 2013;19(19):5533-40. doi: 10.1158/1078-0432.CCR-13-0799. PubMed PMID: 23948975; PMCID: 3813597.
5. Masuda H, Baggerly KA, Wang Y, Iwamoto T, Brewer T, Pusztai L, Kai K, Kogawa T, Finetti P, Birnbaum D, Dirix L, Woodward WA, Reuben JM, Krishnamurthy S, Symmans WF, Van Laere SJ, Bertucci F, Hortobagyi GN, Ueno NT. Comparison of molecular subtype distribution in triple-negative inflammatory and non-inflammatory breast cancers. *Breast Cancer Res.* 2013;15(6):R112. doi: 10.1186/bcr3579. PubMed PMID: 24274653.
6. Xie X, Tang H, Liu P, Kong Y, Wu M, Xiao X, Yang L, Gao J, Wei W, Lee J, Bartholomeusz C, Ueno NT, Xie X. Development of PEA-15 using a potent non-viral vector for therapeutic application in breast cancer. *Cancer Lett.* 2014. doi: 10.1016/j.canlet.2014.09.033. PubMed PMID: 25304382.
7. Xie X, Bartholomeusz C, Ahmed AA, Kazansky A, Diao L, Baggerly KA, Hortobagyi GN, Ueno NT. Bisphosphorylated PEA-15 sensitizes ovarian cancer cells to paclitaxel by impairing the microtubule-destabilizing effect of SCLIP. *Mol Cancer Ther.* 2013;12(6):1099-111. doi: 10.1158/1535-7163.MCT-12-0737. PubMed PMID: 23543364; PMCID: 3681833.